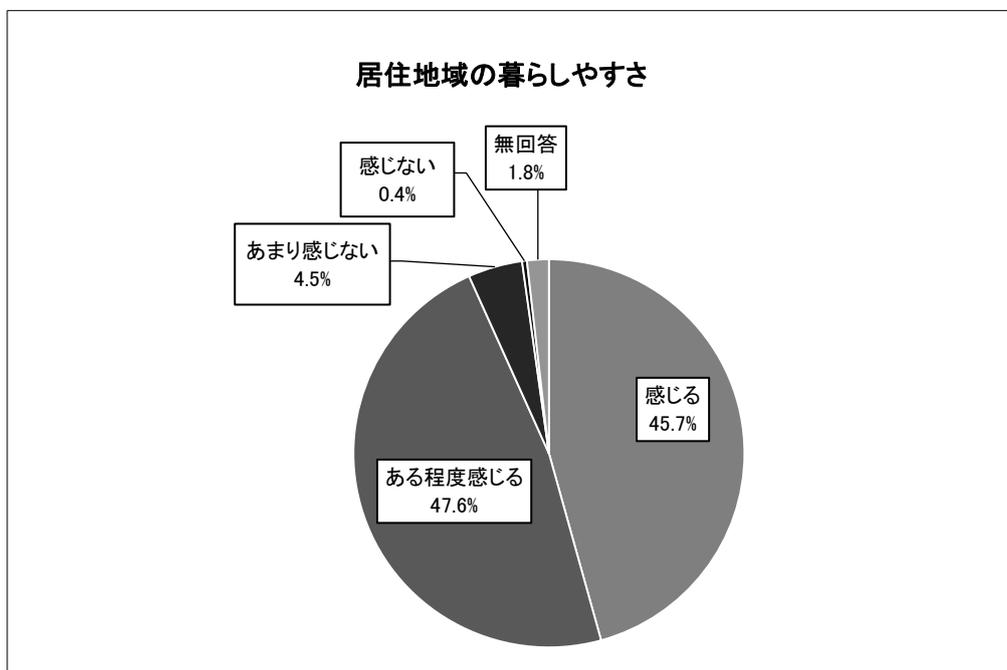


## 2 調査結果

だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて

質問1 今、お住まいの地域について、「暮らしやすい」と感じていますか。(回答は1つ)



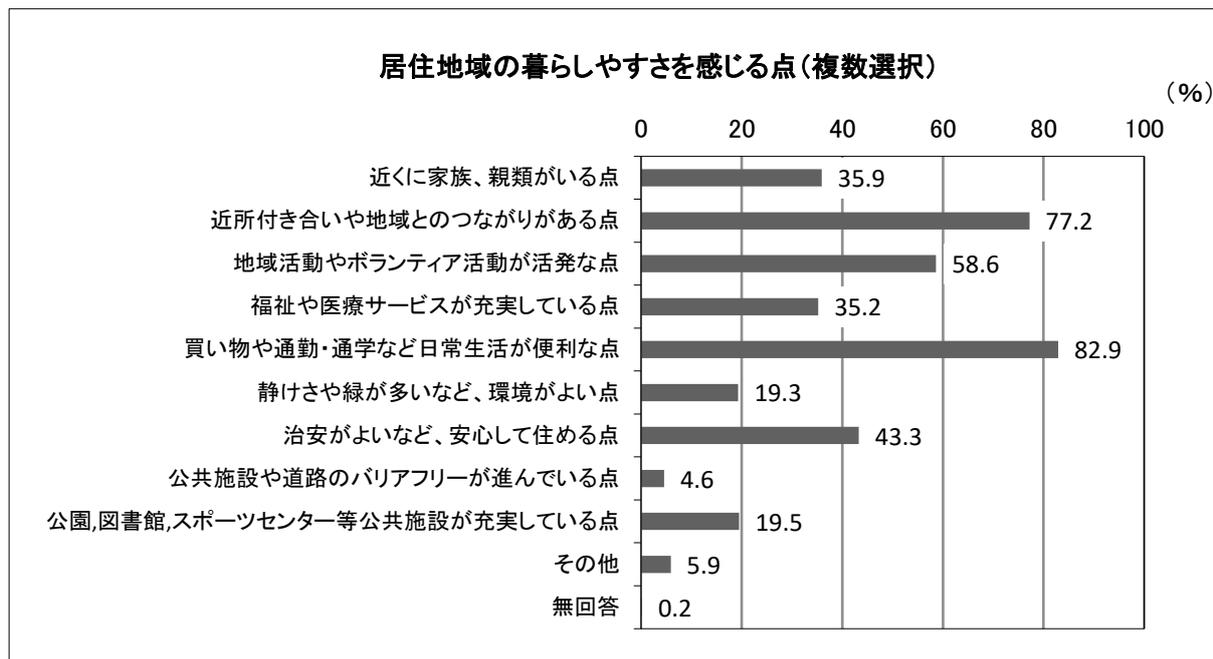
		全 体	感じる	ある程度 感じる	あまり感じ ない	感じない	無回答
全 体	割合(%)	100.0	45.7	47.6	4.5	0.4	1.8
	回答数	490	224	233	22	2	9
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	45.7	51.1	2.2	-	1.1
	回答数	276	126	141	6	-	3
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	46.7	42.1	7.6	1.0	2.5
	回答数	197	92	83	15	2	5
不明	割合(%)	100.0	35.3	52.9	5.9	-	5.9
	回答数	17	6	9	1	-	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	52.6	31.6	15.8	-	-
	回答数	19	10	6	3	-	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	49.3	40.3	6.0	-	4.5
	回答数	67	33	27	4	-	3
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	46.2	46.2	4.4	1.1	2.2
	回答数	91	42	42	4	1	2
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	48.2	46.0	2.9	0.7	2.2
	回答数	137	66	63	4	1	3
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	42.3	54.6	3.1	-	-
	回答数	163	69	89	5	-	-
不明	割合(%)	100.0	30.8	46.2	15.4	-	7.7
	回答数	13	4	6	2	-	1

居住地の暮らしやすさについて、暮らしやすい地域だと感じると答えた人は、「感じる」が45.7%、「ある程度感じる」が47.6%、あわせて93.3%と極めて高くなっている。

## 2 調査結果

[質問1で「1 感じる」「2 ある程度感じる」と答えた方にお聞きします。]

**質問1-1** お住まいの地域のどのような点に「暮らしやすさ」を感じていますか。(回答はいくつでも可)

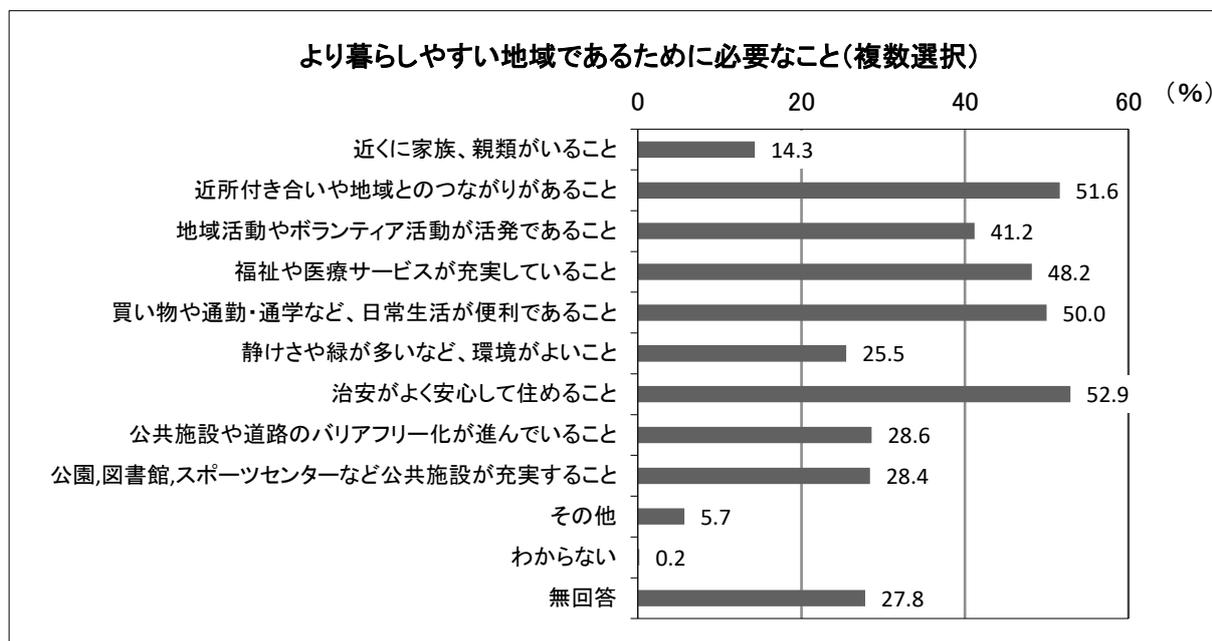


	全体	近くに家族、親類がいる点	近所付き合いや地域とのつながりがある点	地域活動やボランティア活動が活発な点	福祉や医療サービスが充実している点	買い物や通勤・通学など日常生活が便利な点	静けさや緑が多いなど、環境がよい点	治安がよいなど、安心して住める点	公共施設や道路のバリアフリーが進んでいる点	公園や図書館、スポーツセンター等公共施設が充実している点	その他	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 457	35.9 164	77.2 353	58.6 268	35.2 161	82.9 379	19.3 88	43.3 198	4.6 21	19.5 89	5.9 27	0.2 1
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 267	34.5 92	77.9 208	58.1 155	37.8 101	80.9 216	21.7 58	49.1 131	4.9 13	20.6 55	4.9 13	0.4 1
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 175	37.7 66	76.0 133	58.9 103	31.4 55	85.7 150	16.0 28	34.3 60	4.6 8	18.3 32	8.0 14	-
不明	割合(%) 100.0 回答数 15	40.0 6	80.0 12	66.7 10	33.3 5	86.7 13	13.3 2	46.7 7	-	13.3 2	-	-
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 16	43.8 7	68.8 11	37.5 6	12.5 2	100.0 16	18.8 3	12.5 2	-	25.0 4	6.3 1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 60	48.3 29	75.0 45	53.3 32	33.3 20	83.3 50	13.3 8	31.7 19	6.7 4	20.0 12	11.7 7	-
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 84	25.0 21	79.8 67	59.5 50	28.6 24	86.9 73	7.1 6	38.1 32	4.8 4	15.5 13	3.6 3	-
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 129	34.9 45	77.5 100	55.0 71	36.4 47	79.1 102	24.8 32	51.9 67	1.6 2	21.7 28	3.1 4	0.8 1
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 158	38.0 60	77.8 123	65.2 103	41.8 66	81.0 128	23.4 37	46.2 73	7.0 11	19.0 30	7.6 12	-
不明	割合(%) 100.0 回答数 10	20.0 2	70.0 7	60.0 6	20.0 2	100.0 10	20.0 2	50.0 5	-	20.0 2	-	-

居住地域の暮らしやすさを感じる点は、「買い物や通勤・通学など日常生活が便利な点」が82.9%と最も高く、次いで「近所付き合いや地域とのつながりがあること」が77.2%、「地域活動やボランティアが活発な点」が58.6%で50%を超えている。

「その他」自由回答では、「地下鉄・バス等交通の便が良い」、「公共交通機関が近くにあり便利」など、交通機関の便利さなどが挙がっていた。

質問2 お住まいの地域が、より暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。(回答はいくつでも可)



	全体	近くに家族、親類がいること	近所付き合いや地域とのつながりがあること	地域活動やボランティア活動が活発であること	福祉や医療サービスが充実していること	買い物や通勤・通学など、日常生活が便利であること	静けさや緑が多いなど、環境がよいこと	治安がよく安心して住めること	公共施設や道路のバリアフリー化が進んでいること	公園、図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実すること	その他	わからない	無回答
全体	割合(%) 100.0	14.3	51.6	41.2	48.2	50.0	25.5	52.9	28.6	28.4	5.7	0.2	27.8
	回答数 490	70	253	202	236	245	125	259	140	139	28	1	136
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0	13.0	50.7	37.0	46.0	46.0	25.4	52.9	26.8	24.3	5.1	-	31.9
	回答数 276	36	140	102	127	127	70	146	74	67	14	-	88
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0	16.8	52.3	46.2	50.3	55.8	25.9	52.8	31.5	34.5	7.1	0.5	21.3
	回答数 197	33	103	91	99	110	51	104	62	68	14	1	42
不明	割合(%) 100.0	5.9	58.8	52.9	58.8	47.1	23.5	52.9	23.5	23.5	-	-	35.3
	回答数 17	1	10	9	10	8	4	9	4	4	-	-	6
在任期間1年未満	割合(%) 100.0	21.1	68.4	47.4	57.9	57.9	31.6	63.2	31.6	36.8	-	-	10.5
	回答数 19	4	13	9	11	11	6	12	6	7	-	-	2
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0	17.9	44.8	41.8	52.2	58.2	29.9	49.3	34.3	34.3	6.0	1.5	25.4
	回答数 67	12	30	28	35	39	20	33	23	23	4	1	17
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0	8.8	48.4	38.5	42.9	46.2	18.7	50.5	25.3	24.2	4.4	-	30.8
	回答数 91	8	44	35	39	42	17	46	23	22	4	-	28
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0	13.1	50.4	36.5	46.7	41.6	25.5	51.8	22.6	27.7	5.8	-	27.7
	回答数 137	18	69	50	64	57	35	71	31	38	8	-	38
在任期間20年以上	割合(%) 100.0	16.6	54.6	44.2	48.5	55.2	26.4	54.6	33.1	28.2	6.7	-	29.4
	回答数 163	27	89	72	79	90	43	89	54	46	11	-	48
不明	割合(%) 100.0	7.7	61.5	61.5	61.5	46.2	30.8	61.5	23.1	23.1	7.7	-	23.1
	回答数 13	1	8	8	8	6	4	8	3	3	1	-	3

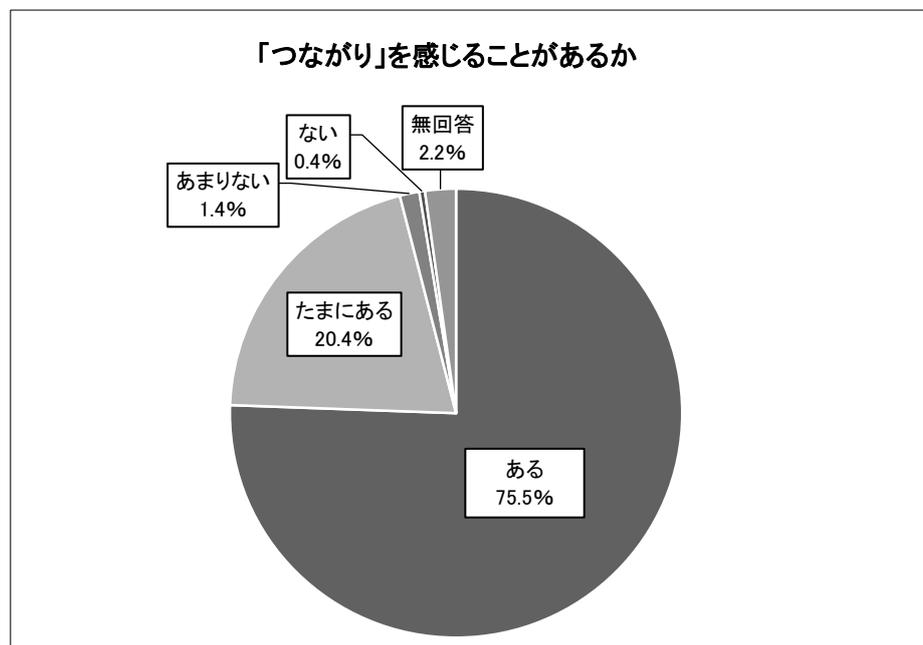
より暮らしやすい地域であるために必要なことは、「治安がよく安心して住めること」、「近所付き合いや地域とのつながりがあること」、「買い物や通勤・通学など、日常生活が便利であること」、「福祉や医療サービスが充実していること」がいずれも50%程度で並んでおり、次いで「地域活動やボランティア活動が活発であること」が41.2%となっている。

「その他」自由回答では、「高齢社会で災害時のこと考えると心配」といった意見もあり、「災害が起きたときに救援機能が充分なこと」、「避難する施設があること」、「防災に強い町」などの意見も見られ、防災への意識の高さがうかがえる結果となっていた。

## 2 調査結果

### 地域での支え合い・助け合いについて

質問3 現在、生活している中で、地域との「つながり」を感じることがありますか。あなたの考えに合う答えを選んでください。(回答は1つ)

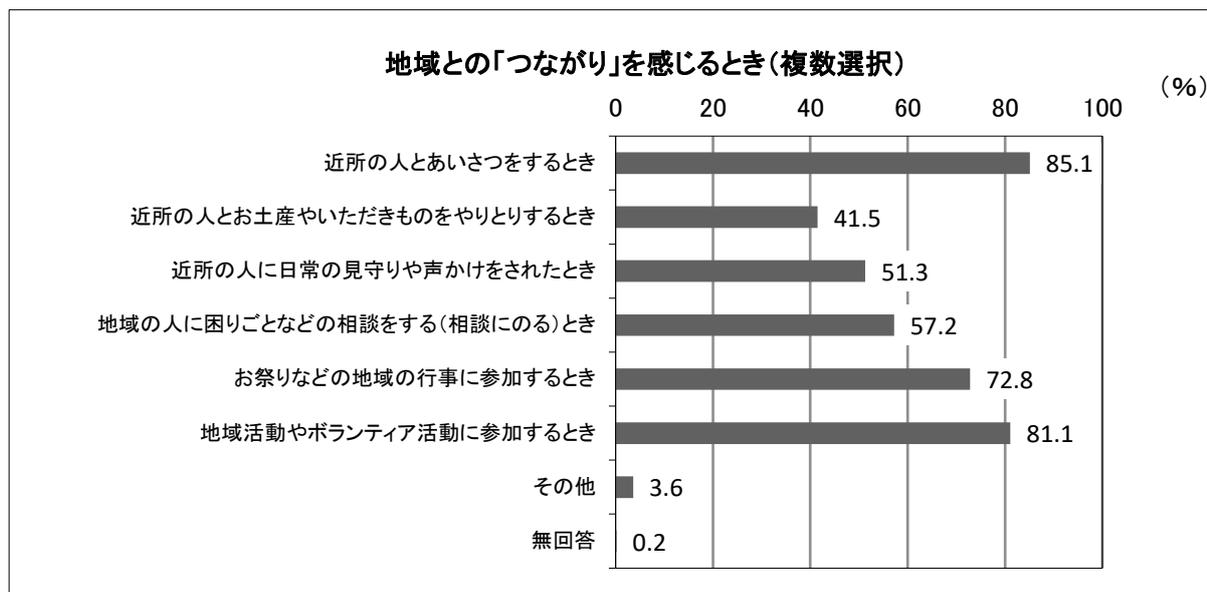


		全 体	ある	たまにあ る	あまりない	ない	無回答
全 体	割合(%)	100.0	75.5	20.4	1.4	0.4	2.2
	回答数	490	370	100	7	2	11
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	76.8	20.7	0.4	-	2.2
	回答数	276	212	57	1	-	6
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	74.1	20.3	3.0	0.5	2.0
	回答数	197	146	40	6	1	4
不明	割合(%)	100.0	70.6	17.6	-	5.9	5.9
	回答数	17	12	3	-	1	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	68.4	31.6	-	-	-
	回答数	19	13	6	-	-	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	67.2	25.4	3.0	-	4.5
	回答数	67	45	17	2	-	3
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	75.8	17.6	3.3	-	3.3
	回答数	91	69	16	3	-	3
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	77.4	21.2	-	-	1.5
	回答数	137	106	29	-	-	2
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	78.5	18.4	1.2	0.6	1.2
	回答数	163	128	30	2	1	2
不明	割合(%)	100.0	69.2	15.4	-	7.7	7.7
	回答数	13	9	2	-	1	1

地域との「つながり」を感じることがあるかと聞いたところ、「ある」が75.5%、「たまにある」が20.4%、あわせて95.9%の回答者が「つながり」を感じている。

[質問3で「1. ある」「2. たまにある」と答えた方にお聞きします。]

質問3-1 地域との「つながり」を感じるのはどのようなときですか。(回答はいくつでも可)



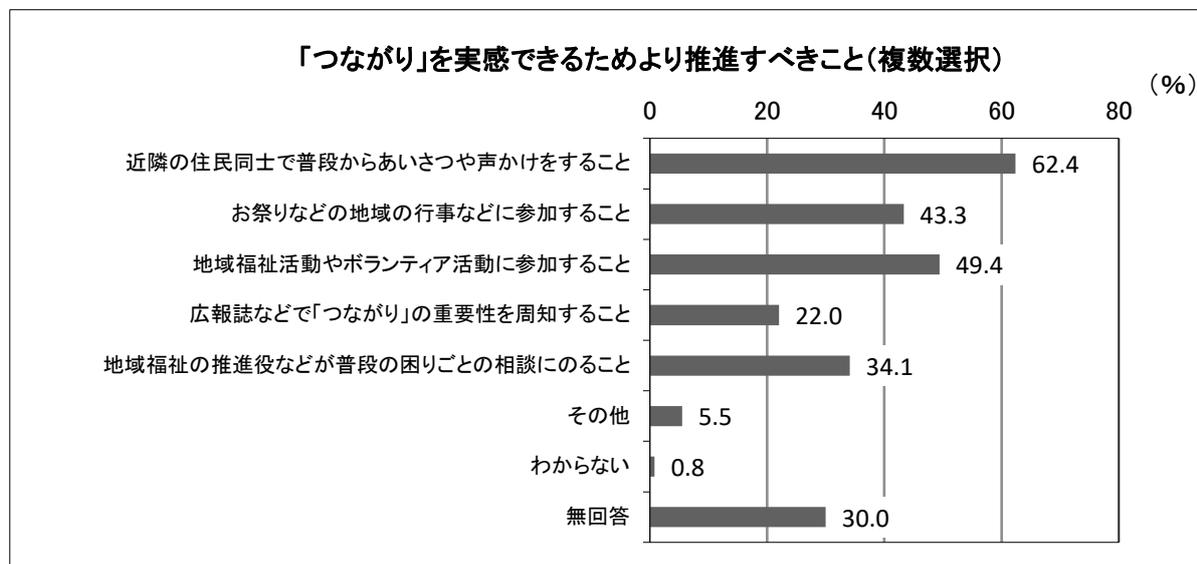
	全 体	近所の人 とあいさつ をするとき	近所の人 とお土産 やいただき ものをやり とりする とき	近所の人 に日常の 見守りや 声かけをさ れたとき	地域の人 に困りごと などの相 談をする (相談にの る)とき	お祭りなど の地域の 行事に参 加するとき	地域活動 やボラン ティア活動 に参加す るとき	その他	無回答	
全 体	割合(%) 回答数	100.0 470	85.1 400	41.5 195	51.3 241	57.2 269	72.8 342	81.1 381	3.6 17	0.2 1
民生委員・児童委員	割合(%) 回答数	100.0 269	83.6 225	34.9 94	49.8 134	55.0 148	71.4 192	84.8 228	3.3 9	- -
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 回答数	100.0 186	87.1 162	48.9 91	53.8 100	60.2 112	73.1 136	74.2 138	3.8 7	0.5 1
不明	割合(%) 回答数	100.0 15	86.7 13	66.7 10	46.7 7	60.0 9	93.3 14	100.0 15	6.7 1	- -
在任期間1年未満	割合(%) 回答数	100.0 19	94.7 18	52.6 10	36.8 7	26.3 5	73.7 14	68.4 13	5.3 1	- -
在任期間1年～5年未満	割合(%) 回答数	100.0 62	87.1 54	48.4 30	54.8 34	62.9 39	77.4 48	69.4 43	8.1 5	- -
在任期間5年～10年未満	割合(%) 回答数	100.0 85	82.4 70	49.4 42	52.9 45	61.2 52	71.8 61	78.8 67	3.5 3	1.2 1
在任期間10年～20年未満	割合(%) 回答数	100.0 135	84.4 114	32.6 44	48.9 66	55.6 75	69.6 94	82.2 111	3.0 4	- -
在任期間20年以上	割合(%) 回答数	100.0 158	86.1 136	41.1 65	53.2 84	57.6 91	72.8 115	86.1 136	1.9 3	- -
不明	割合(%) 回答数	100.0 11	72.7 8	36.4 4	45.5 5	63.6 7	90.9 10	100.0 11	9.1 1	- -

地域との「つながり」を感じる時は、「近所の人とあいさつをするとき」が 85.1%と最も高く、次いで「地域活動やボランティア活動に参加するとき」が 81.1%、「お祭りなどの地域の行事に参加するとき」が 72.8%となっている。

他の項目についても回答結果は 50%前後となっており、日常生活やイベントなどが複合的に影響し「つながり」を感じる点となっていると考えられる。

## 2 調査結果

質問4 どのようなことを一層推進すれば、地域でお住まいの方が、地域の「つながり」を実感することができるようになりますか。(回答はいくつでも可)



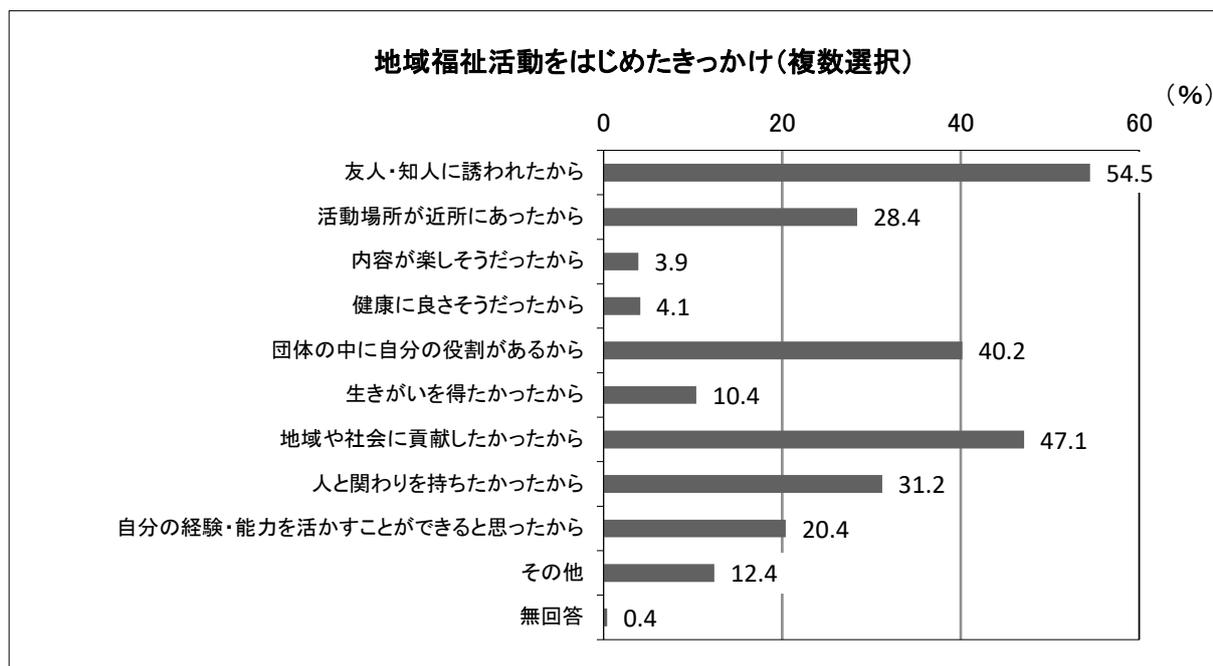
	全体	近隣の住民同士で普段からあいさつや声かけをすること	お祭りなどの地域の行事などに参加すること	地域福祉活動やボランティア活動に参加すること	広報誌などで「つながり」の重要性を周知すること	地域福祉の推進役などが普段の困りごとの相談にのること	その他	わからない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	62.4 306	43.3 212	49.4 242	22.0 108	34.1 167	5.5 27	0.8 4	30.0 147
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	59.4 164	42.8 118	48.6 134	17.8 49	33.0 91	3.3 9	0.7 2	32.6 90
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	67.0 132	44.2 87	50.8 100	27.9 55	35.5 70	8.6 17	1.0 2	25.4 50
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	58.8 10	41.2 7	47.1 8	23.5 4	35.3 6	5.9 1	-	41.2 7
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	63.2 12	47.4 9	42.1 8	36.8 7	31.6 6	-	-	26.3 5
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	68.7 46	44.8 30	37.3 25	26.9 18	31.3 21	11.9 8	-	25.4 17
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	54.9 50	34.1 31	40.7 37	17.6 16	28.6 26	5.5 5	1.1 1	36.3 33
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	57.7 79	40.9 56	48.2 66	16.1 22	31.4 43	3.6 5	1.5 2	34.3 47
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	68.1 111	49.7 81	60.1 98	25.2 41	40.5 66	4.9 8	0.6 1	25.2 41
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	61.5 8	38.5 5	61.5 8	30.8 4	38.5 5	7.7 1	-	30.8 4

「つながり」を実感するためにより一層推進すべきことでは、「近隣の住民同士で普段からあいさつや声かけをすること」が62.4%と最も高く、次いで「地域福祉活動やボランティア活動に参加すること」が49.4%、「お祭りなどの地域の行事などに参加すること」が43.3%となっている。

「その他」自由回答では、「防災のための具体的なシミュレーション訓練」、「災害時の避難訓練」などの意見があり、防災の観点からの「つながり」の重要性が読み取れた。

## 地域福祉活動について

質問5 地域福祉活動の担い手として活動をはじめたきっかけは何ですか。(回答はいくつでも可)



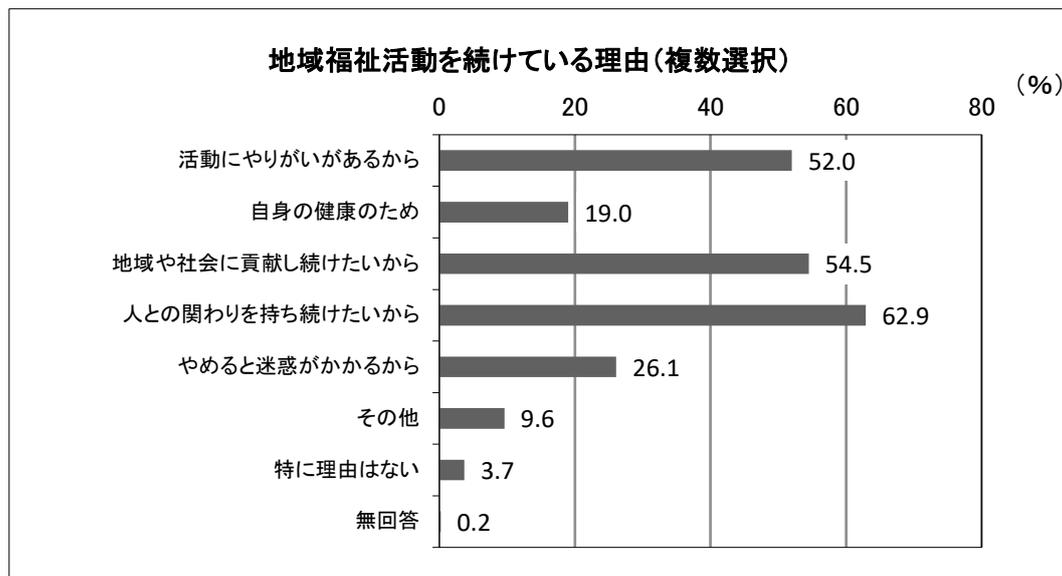
	全体	友人・知人に誘われたから	活動場所が近所にあったから	内容が楽しそうだったから	健康に良さそうだったから	団体の中に自分の役割があるから	生きがいを得たかったから	地域や社会に貢献したかったから	人と関わりを持ちたかったから	自分の経験・能力を活かすことができると思ったから	その他	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	54.5 267	28.4 139	3.9 19	4.1 20	40.2 197	10.4 51	47.1 231	31.2 153	20.4 100	12.4 61	0.4 2
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	52.2 144	23.6 65	3.3 9	3.6 10	43.5 120	9.1 25	47.5 131	26.8 74	16.7 46	13.0 36	0.4 1
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	57.4 113	36.5 72	4.1 8	4.1 8	36.0 71	11.7 23	46.2 91	36.0 71	25.4 50	10.7 21	0.5 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	58.8 10	11.8 2	11.8 2	11.8 2	35.3 6	17.6 3	52.9 9	47.1 8	23.5 4	23.5 4	-
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	68.4 13	10.5 2	5.3 1	5.3 1	21.1 4	15.8 3	47.4 9	31.6 6	26.3 5	10.5 2	-
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	52.2 35	41.8 28	6.0 4	4.5 3	26.9 18	14.9 10	50.7 34	35.8 24	34.3 23	10.4 7	1.5 1
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	54.9 50	25.3 23	2.2 2	4.4 4	38.5 35	7.7 7	50.5 46	34.1 31	22.0 20	8.8 8	-
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	59.9 82	27.7 38	3.6 5	5.1 7	40.1 55	8.8 12	39.4 54	27.7 38	14.6 20	13.1 18	-
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	49.1 80	28.2 46	4.3 7	2.5 4	49.7 81	11.0 18	50.9 83	28.8 47	18.4 30	13.5 22	0.6 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	53.8 7	15.4 2	-	7.7 1	30.8 4	7.7 1	38.5 5	53.8 7	15.4 2	30.8 4	-

地域福祉活動の担い手として活動をはじめたきっかけは、「友人・知人に誘われたから」が54.5%と最も高く、次いで「地域や社会に貢献したかったから」が47.1%となっている。

「その他」自由回答では、「父が町会の事をやっているの」、「祖父母、両親が参加したから」や、「地域に恩返しをしたかったから」、「生まれ育った地域が優しい町になってほしいと思ったから」といった、受動的な意見と能動的な意見双方が見られた。他に、「PTAの活動から」「PTAからのつながり」といったPTAが活動のきっかけとなっている意見も多く見られた。

## 2 調査結果

質問6 地域福祉活動の担い手として活動を続けている理由は何ですか。(回答はいくつでも可)

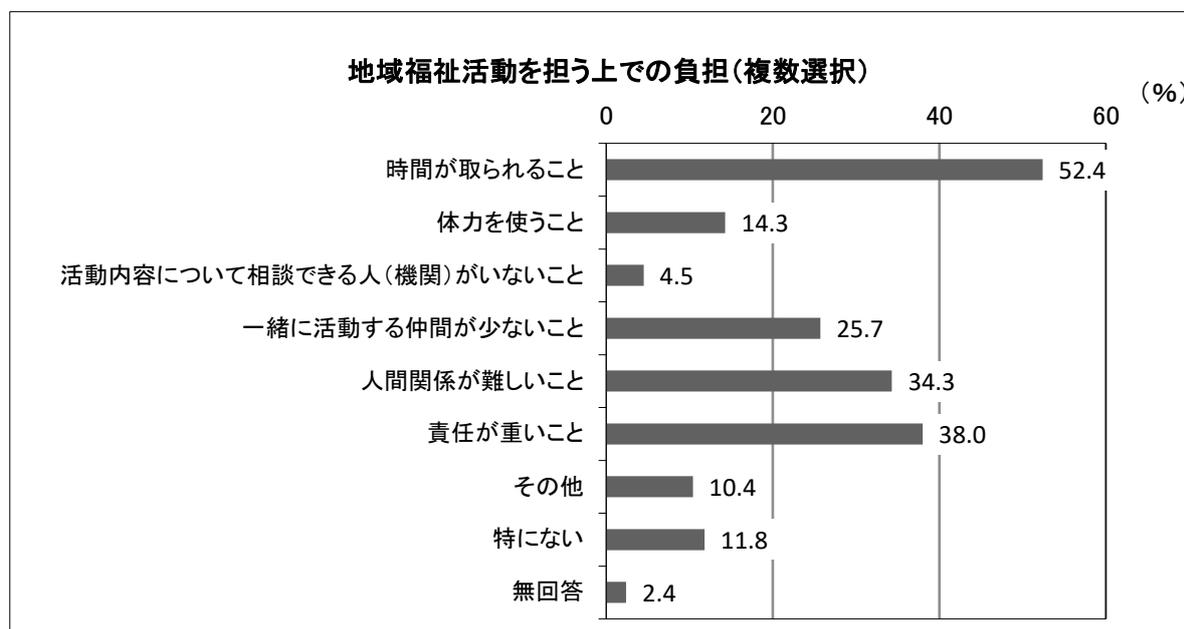


	全体	活動にやりがいがあるから	自身の健康のため	地域や社会に貢献し続けたいから	人との関わりを持ち続けたいから	やめると迷惑がかかるから	その他	特に理由はない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	52.0 255	19.0 93	54.5 267	62.9 308	26.1 128	9.6 47	3.7 18	0.2 1
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	48.2 133	16.7 46	55.8 154	59.4 164	26.1 72	10.5 29	3.6 10	-
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	56.9 112	21.8 43	51.3 101	66.5 131	26.4 52	8.6 17	4.1 8	0.5 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	58.8 10	23.5 4	70.6 12	76.5 13	23.5 4	5.9 1	-	-
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	31.6 6	26.3 5	47.4 9	52.6 10	10.5 2	15.8 3	15.8 3	-
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	55.2 37	16.4 11	59.7 40	65.7 44	19.4 13	9.0 6	3.0 2	-
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	58.2 53	15.4 14	50.5 46	58.2 53	37.4 34	5.5 5	3.3 3	-
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	47.4 65	18.2 25	51.1 70	62.0 85	24.8 34	11.7 16	5.1 7	0.7 1
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	55.2 90	20.9 34	58.3 95	65.6 107	25.8 42	9.8 16	1.8 3	-
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	30.8 4	30.8 4	53.8 7	69.2 9	23.1 3	7.7 1	-	-

地域福祉活動を続けている理由は、「人との関わりを持ち続けたいから」が62.9%と最も高く、次いで「地域や社会に貢献し続けたいから」が54.5%、「活動にやりがいがあるから」が52.0%と続いている。

「その他」自由回答では、「地域が好きだから」、「自分の生まれ育った地域をよりよい地域にしたいから」といった意見がある中、「他に適任者がいないから」、「後継者がいない」といった担い手不足に関する意見も多数あった。

質問7 地域福祉活動の担い手として活動するにあたって、どのようなことを負担に思われますか。(回答はいくつでも可)



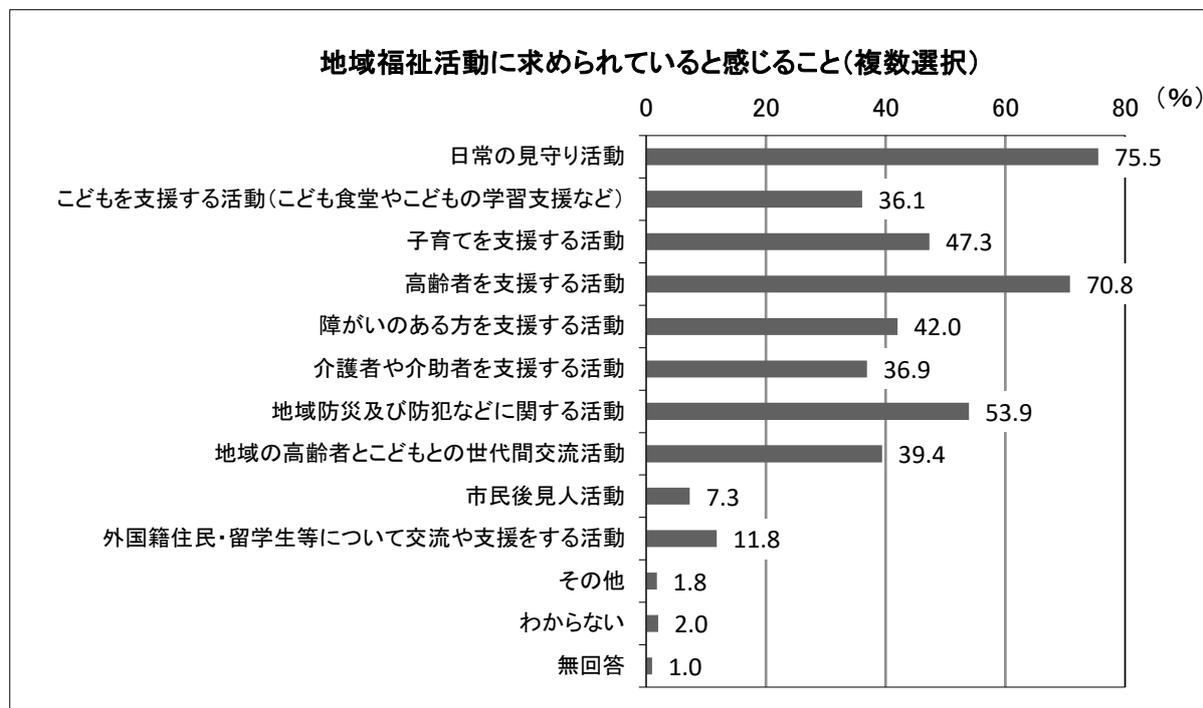
	全体	時間が取られること	体力を使うこと	活動内容について相談できる人(機関)がないこと	一緒に活動する仲間が少ないこと	人間関係が難しいこと	責任が重いこと	その他	特になし	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	52.4 257	14.3 70	4.5 22	25.7 126	34.3 168	38.0 186	10.4 51	11.8 58	2.4 12
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	59.8 165	13.0 36	3.6 10	20.7 57	28.6 79	44.2 122	8.7 24	12.7 35	2.9 8
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	42.1 83	14.7 29	5.6 11	33.5 66	41.6 82	29.9 59	12.7 25	10.7 21	2.0 4
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	52.9 9	29.4 5	5.9 1	17.6 3	41.2 7	29.4 5	11.8 2	11.8 2	- -
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	42.1 8	15.8 3	- -	21.1 4	36.8 7	15.8 3	- -	10.5 2	5.3 1
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	35.8 24	7.5 5	4.5 3	23.9 16	40.3 27	28.4 19	16.4 11	11.9 8	3.0 2
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	53.8 49	19.8 18	7.7 7	30.8 28	37.4 34	37.4 34	9.9 9	8.8 8	2.2 2
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	51.8 71	13.9 19	5.8 8	28.5 39	33.6 46	43.1 59	9.5 13	13.9 19	2.2 3
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	59.5 97	14.1 23	1.8 3	20.9 34	30.1 49	41.1 67	10.4 17	12.3 20	2.5 4
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	61.5 8	15.4 2	7.7 1	38.5 5	38.5 5	30.8 4	7.7 1	7.7 1	- -

地域福祉活動を担う上での負担は、「時間が取られること」が52.4%と最も高く、次いで「責任が重いこと」が38.0%、「人間関係が難しいこと」が34.3%となっている。

「その他」自由回答では、「活動時間に終わりが無い」、「事務処理量が多いこと(報告書作成等)」などの意見や、「見守りをする上で気づきに見落としが常にか常にプレッシャーである」、「自分自身の能力外のことにつきあたることもある」などの活動内容の難しさを訴える意見も見られた。

## 2 調査結果

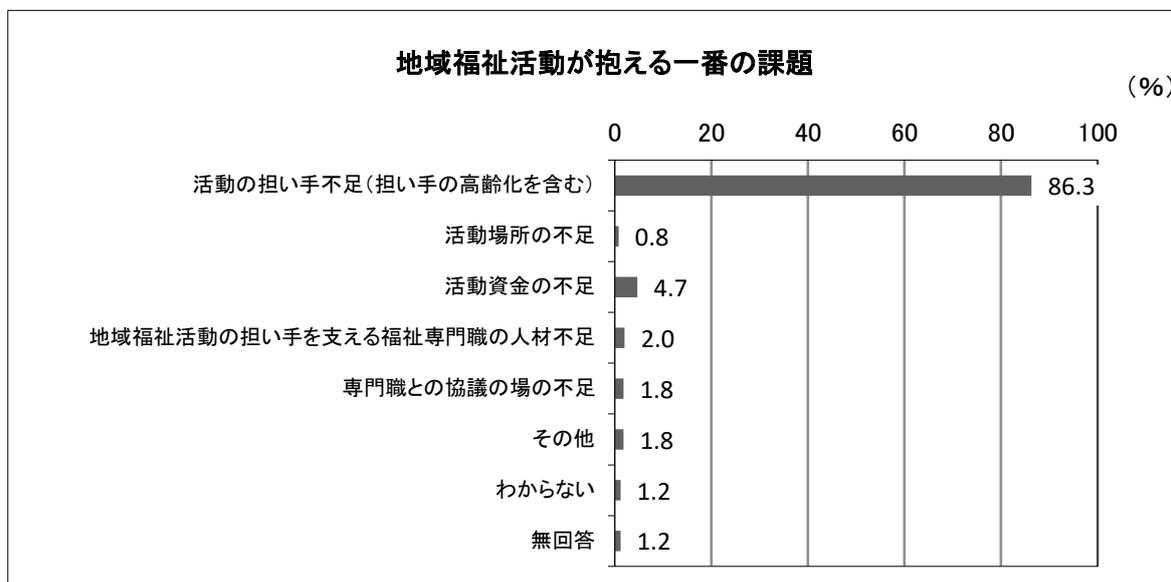
質問8 活動されている地域で、どのような地域福祉活動が求められていると感じていますか。  
(回答はいくつでも可)



	全体	日常の見守り活動	子どもを支援する活動(子ども食堂やこどもの学習支援など)	子育てを支援する活動	高齢者を支援する活動	障がいのある方を支援する活動	介護者や介助者を支援する活動	地域防災及び防犯などに関する活動	地域の高齢者とこどもの世代間交流活動	市民後見人活動	外国籍住民・留学生等について交流や支援をする活動	その他	わからない	無回答	
全体	割合(%) 回答数	100.0 490	75.5 370	36.1 177	47.3 232	70.8 347	42.0 206	36.9 181	53.9 264	39.4 193	7.3 36	11.8 58	1.8 9	2.0 10	1.0 5
民生委員・児童委員	割合(%) 回答数	100.0 276	76.4 211	37.0 102	52.9 146	72.8 201	41.3 114	32.2 89	56.2 155	33.3 92	6.9 19	9.4 26	0.7 2	0.7 2	0.7 2
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 回答数	100.0 197	75.1 149	34.5 68	40.1 79	69.5 137	43.1 85	43.1 85	49.2 97	47.2 93	8.1 16	14.7 29	3.6 7	3.6 7	1.5 3
不明	割合(%) 回答数	100.0 17	64.7 11	41.2 7	41.2 7	52.9 9	41.2 7	41.2 7	70.6 12	47.1 8	5.9 1	17.6 3	-	5.9 1	-
在任期間1年未満	割合(%) 回答数	100.0 19	73.7 14	26.3 5	42.1 8	63.2 12	31.6 6	36.8 7	21.1 4	42.1 8	-	15.8 3	-	-	-
在任期間1年~5年未満	割合(%) 回答数	100.0 67	65.7 44	31.3 21	40.3 27	67.2 45	41.8 28	44.8 30	53.7 36	47.8 32	10.4 7	11.9 8	6.0 4	3.0 2	4.5 3
在任期間5年~10年未満	割合(%) 回答数	100.0 91	80.2 73	29.7 27	41.8 38	72.5 66	40.7 37	37.4 34	52.7 48	45.1 41	7.7 7	13.2 12	2.2 2	1.1 1	1.1 1
在任期間10年~20年未満	割合(%) 回答数	100.0 137	70.1 96	36.5 50	49.6 68	67.2 92	40.1 55	32.1 44	51.8 71	31.4 43	5.8 8	10.2 14	-	4.4 6	-
在任期間20年以上	割合(%) 回答数	100.0 163	81.0 132	42.3 69	52.8 86	74.8 122	46.0 75	38.0 62	59.5 97	38.0 62	8.0 13	11.7 19	1.8 3	0.6 1	0.6 1
不明	割合(%) 回答数	100.0 13	84.6 11	38.5 5	38.5 5	76.9 10	38.5 5	30.8 4	61.5 8	53.8 7	7.7 1	15.4 2	-	-	-

地域福祉活動に求められていると感じることは、「日常の見守り活動」が75.5%と最も高く、次いで「高齢者を支援する活動」が70.8%、「地域防災及び防犯などに関する活動」が53.9%となっており50%を超えている。

質問9 地域福祉活動が抱える一番の課題は何だと思いますか。あなたの考えに近い答えを選んでください。(回答は1つ)

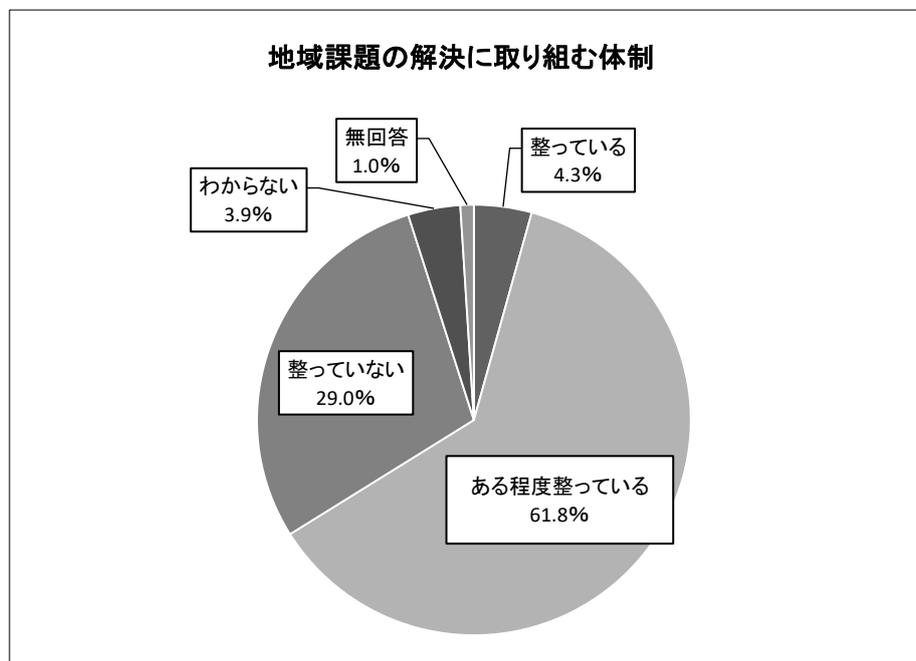


	全体	活動の担い手不足 (担い手の高齢化を含む)	活動場所の不足	活動資金の不足	地域福祉活動の担い手を支える福祉専門職の人材不足	専門職との協議の場の不足	その他	わからない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	86.3	0.8	4.7	2.0	1.8	1.8	1.2	1.2
	回答数	490	423	4	23	10	9	9	6	6
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	85.9	1.1	5.8	1.1	2.5	1.8	1.1	0.7
	回答数	276	237	3	16	3	7	5	3	2
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	87.3	-	3.0	3.6	1.0	2.0	1.0	2.0
	回答数	197	172	-	6	7	2	4	2	4
不明	割合(%)	100.0	82.4	5.9	5.9	-	-	-	5.9	-
	回答数	17	14	1	1	-	-	-	1	-
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	84.2	-	-	10.5	-	-	5.3	-
	回答数	19	16	-	-	2	-	-	1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	85.1	-	3.0	3.0	1.5	3.0	-	4.5
	回答数	67	57	-	2	2	1	2	-	3
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	90.1	-	2.2	3.3	1.1	2.2	-	1.1
	回答数	91	82	-	2	3	1	2	-	1
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	89.1	0.7	4.4	0.7	1.5	1.5	2.2	-
	回答数	137	122	1	6	1	2	2	3	-
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	82.8	1.8	7.4	1.2	3.1	1.8	0.6	1.2
	回答数	163	135	3	12	2	5	3	1	2
不明	割合(%)	100.0	84.6	-	7.7	-	-	-	7.7	-
	回答数	13	11	-	1	-	-	-	1	-

地域福祉活動が抱える一番の課題は、「活動の担い手不足(担い手の高齢化を含む)」が86.3%で突出している。

住民主体の地域課題の解決力強化について

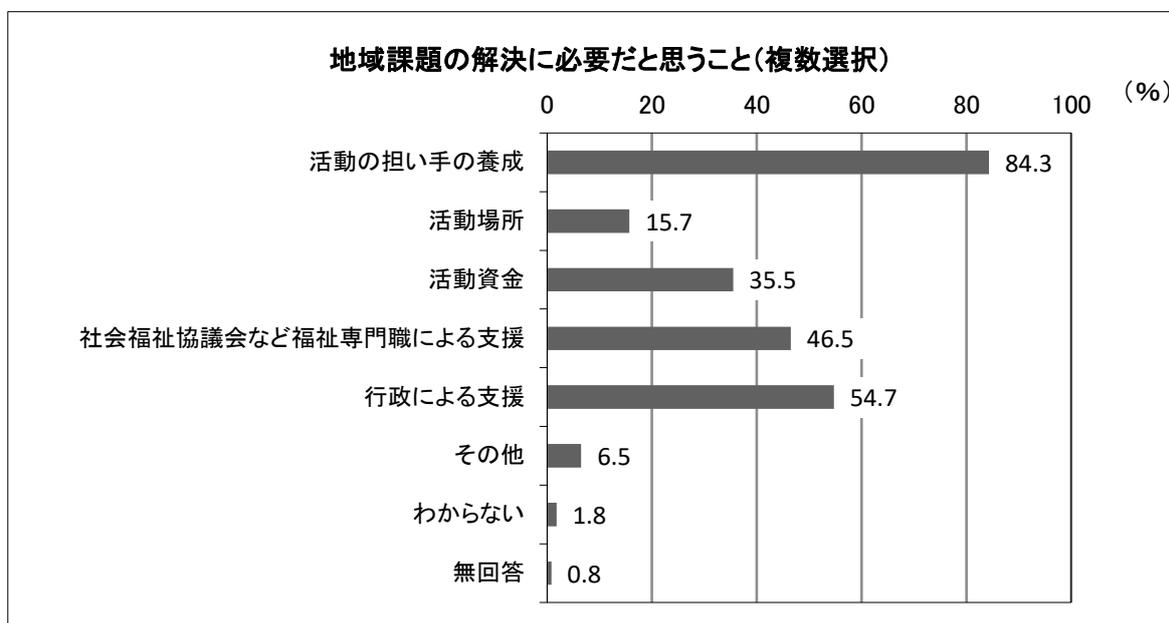
質問 10 活動されている地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けて取り組む体制が整っていると感じますか。あなたの考えに近い答えを選んでください。(回答は1つ)



		全体	整っている	ある程度整っている	整っていない	わからない	無回答
全体	割合(%)	100.0	4.3	61.8	29.0	3.9	1.0
	回答数	490	21	303	142	19	5
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	3.6	65.9	27.5	1.4	1.4
	回答数	276	10	182	76	4	4
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	5.6	55.8	31.5	6.6	0.5
	回答数	197	11	110	62	13	1
不明	割合(%)	100.0	-	64.7	23.5	11.8	-
	回答数	17	-	11	4	2	-
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	-	73.7	26.3	-	-
	回答数	19	-	14	5	-	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	7.5	50.7	29.9	9.0	3.0
	回答数	67	5	34	20	6	2
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	3.3	57.1	35.2	4.4	-
	回答数	91	3	52	32	4	-
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	3.6	64.2	26.3	4.4	1.5
	回答数	137	5	88	36	6	2
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	4.9	65.6	27.6	1.2	0.6
	回答数	163	8	107	45	2	1
不明	割合(%)	100.0	-	61.5	30.8	7.7	-
	回答数	13	-	8	4	1	-

地域課題の解決に取り組む体制の整備状況については、「整っている」及び「ある程度整っている」を合わせると、66.1%を占めている。

質問 11 地域課題やニーズについて、地域全体で解決に向けて取り組む体制を整えていくためには何が必要であると考えますか。(回答はいくつでも可)



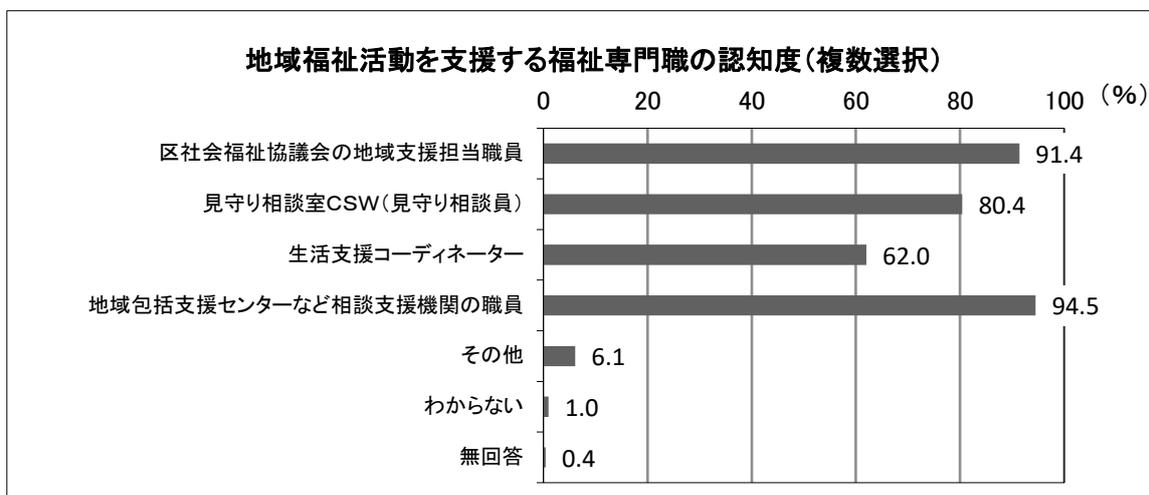
	全体	活動の担い手の養成	活動場所	活動資金	社会福祉協議会など福祉専門職による支援	行政による支援	その他	わからない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	84.3	15.7	35.5	46.5	54.7	6.5	1.8	0.8
	回答数	490	413	77	174	228	268	32	9	4
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	85.5	14.5	31.9	47.5	56.2	5.8	0.7	0.7
	回答数	276	236	40	88	131	155	16	2	2
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	82.7	16.2	40.6	43.1	53.3	8.1	3.0	0.5
	回答数	197	163	32	80	85	105	16	6	1
不明	割合(%)	100.0	82.4	29.4	35.3	70.6	47.1	-	5.9	5.9
	回答数	17	14	5	6	12	8	-	1	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	68.4	5.3	21.1	26.3	42.1	10.5	5.3	-
	回答数	19	13	1	4	5	8	2	1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	86.6	19.4	40.3	44.8	61.2	7.5	1.5	1.5
	回答数	67	58	13	27	30	41	5	1	1
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	86.8	13.2	37.4	41.8	51.6	9.9	3.3	1.1
	回答数	91	79	12	34	38	47	9	3	1
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	82.5	14.6	39.4	46.7	55.5	5.1	2.2	-
	回答数	137	113	20	54	64	76	7	3	-
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	85.9	17.2	31.3	51.5	55.2	5.5	-	0.6
	回答数	163	140	28	51	84	90	9	-	1
不明	割合(%)	100.0	76.9	23.1	30.8	53.8	46.2	-	7.7	7.7
	回答数	13	10	3	4	7	6	-	1	1

地域課題の解決に必要なと思うことは、「活動の担い手の養成」が84.3%と最も高く、次いで「行政による支援」が54.7%、「社会福祉協議会など福祉専門職による支援」が46.5%と続いている。

「その他」自由回答では、「色々な世代を交えた地域内の人の交流」、「若い人の参加」などの世代間交流に関する意見が見られた。

2 調査結果

質問 12 地域福祉活動への支援をおこなっている福祉専門職でご存知のものは、次のうちどれですか。(回答はいくつでも可)

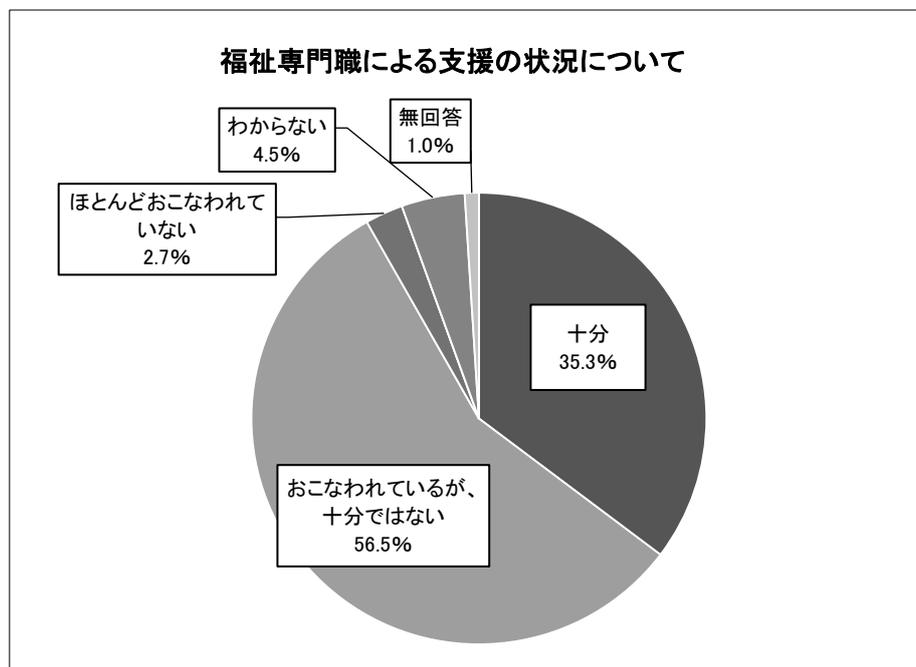


	全体	区社会福祉協議会の地域支援担当職員	見守り相談室CSW(見守り相談員)	生活支援コーディネーター	地域包括支援センターなど相談支援機関の職員	その他	わからない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	91.4	80.4	62.0	94.5	6.1	1.0	0.4
	回答数	490	448	394	304	463	30	5	2
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	89.5	74.6	54.0	94.2	4.3	1.1	-
	回答数	276	247	206	149	260	12	3	-
地域福祉コーディネーター等	割合(%)	100.0	94.9	89.3	75.1	95.9	8.6	1.0	-
	回答数	197	187	176	148	189	17	2	-
不明	割合(%)	100.0	82.4	70.6	41.2	82.4	5.9	-	11.8
	回答数	17	14	12	7	14	1	-	2
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	89.5	68.4	57.9	84.2	-	5.3	-
	回答数	19	17	13	11	16	-	1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	95.5	89.6	73.1	97.0	9.0	-	-
	回答数	67	64	60	49	65	6	-	-
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	93.4	89.0	71.4	95.6	12.1	2.2	-
	回答数	91	85	81	65	87	11	2	-
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	90.5	76.6	59.9	94.2	4.4	0.7	-
	回答数	137	124	105	82	129	6	1	-
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	91.4	77.9	58.3	96.3	4.3	-	-
	回答数	163	149	127	95	157	7	-	-
不明	割合(%)	100.0	69.2	61.5	15.4	69.2	-	7.7	15.4
	回答数	13	9	8	2	9	-	1	2

地域福祉活動を支援する福祉専門職の認知度は、「区社会福祉協議会の地域支援担当職員」や「地域包括支援センターなど相談支援機関の職員」が90%を超えているほか、他の専門職においても高い認知度となっており、地域において推進役と福祉専門職との関わりの深さがうかがえる結果となっている。

「その他」自由回答では、「保健師」、「オレンジチーム」、「NPO」、「まちづくりセンター」、「区役所職員」など、様々な専門職・機関が挙げられていた。

質問 13 活動されている地域における、区社会福祉協議会の地域支援担当職員などの福祉専門職による支援の状況について、あなたの考えに近い答えを選んでください。(回答は1つ)

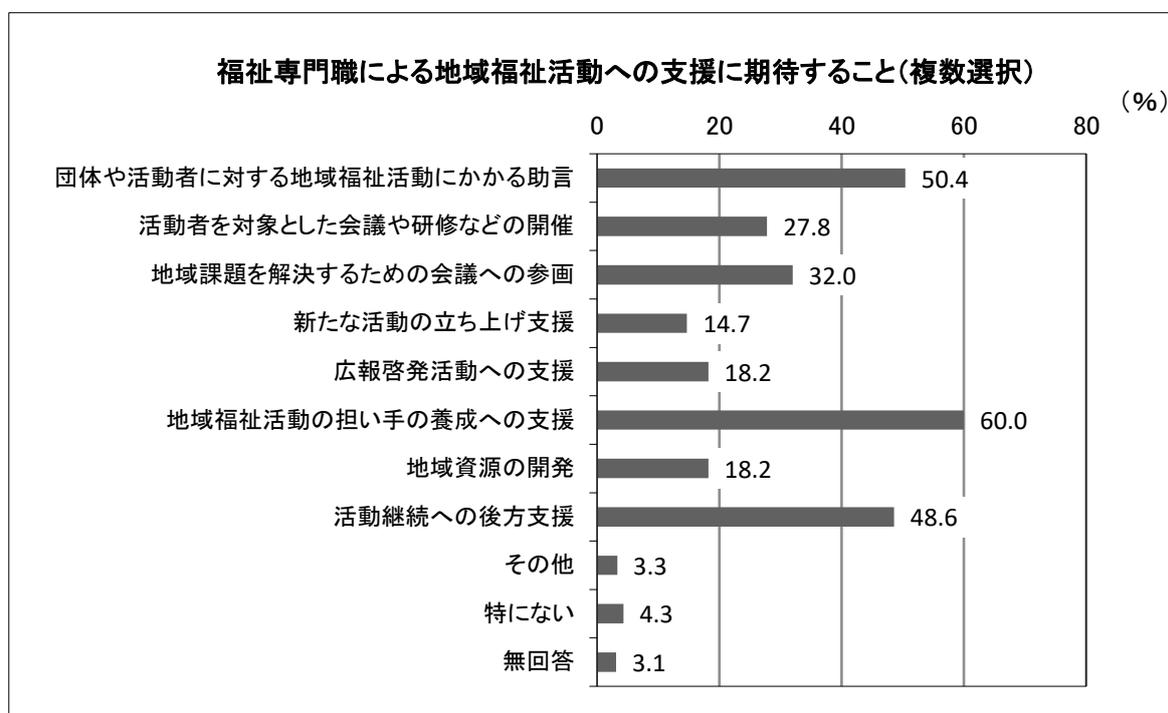


	全体	十分	おこなわれているが、十分ではない	ほとんどおこなわれていない	わからない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	35.3	56.5	2.7	4.5	1.0
	回答数	490	173	277	13	22	5
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	33.0	58.3	3.6	4.3	0.7
	回答数	276	91	161	10	12	2
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	39.6	53.3	1.5	4.6	1.0
	回答数	197	78	105	3	9	2
不明	割合(%)	100.0	23.5	64.7	-	5.9	5.9
	回答数	17	4	11	-	1	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	57.9	36.8	-	5.3	-
	回答数	19	11	7	-	1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	38.8	50.7	3.0	6.0	1.5
	回答数	67	26	34	2	4	1
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	36.3	56.0	3.3	3.3	1.1
	回答数	91	33	51	3	3	1
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	39.4	53.3	0.7	5.8	0.7
	回答数	137	54	73	1	8	1
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	28.8	63.8	4.3	2.5	0.6
	回答数	163	47	104	7	4	1
不明	割合(%)	100.0	15.4	61.5	-	15.4	7.7
	回答数	13	2	8	-	2	1

専門職による支援の状況について、「十分おこなわれている」が35.3%である一方、「おこなわれているが十分ではない」及び「ほとんどおこなわれていない」が合わせて59.2%となっている。

## 2 調査結果

質問 14 福祉専門職による地域福祉活動への支援に期待することは何ですか。(回答はいくつでも可)

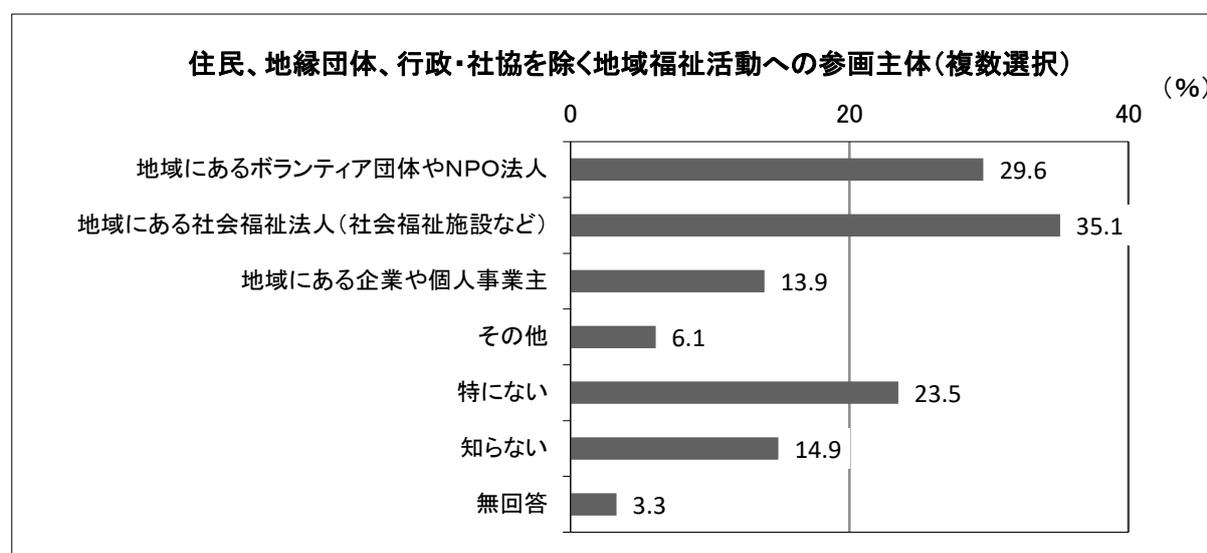


	全体	団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言	活動者を対象とした会議や研修などの開催	地域課題を解決するための会議への参画	新たな活動の立ち上げ支援	広報啓発活動への支援	地域福祉活動の担い手の養成への支援	地域資源の開発	活動継続への後方支援	その他	特になし	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	50.4 247	27.8 136	32.0 157	14.7 72	18.2 89	60.0 294	18.2 89	48.6 238	3.3 16	4.3 21	3.1 15
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	49.3 136	23.6 65	32.6 90	13.0 36	15.2 42	58.7 162	15.2 42	46.0 127	2.9 8	4.0 11	2.5 7
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	52.3 103	32.5 64	32.0 63	16.2 32	21.3 42	61.4 121	22.8 45	52.8 104	4.1 8	4.6 9	3.0 6
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	47.1 8	41.2 7	23.5 4	23.5 4	29.4 5	64.7 11	11.8 2	41.2 7	- -	5.9 1	11.8 2
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	63.2 12	31.6 6	26.3 5	5.3 1	21.1 4	68.4 13	21.1 4	47.4 9	5.3 1	5.3 1	- -
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	52.2 35	34.3 23	29.9 20	16.4 11	20.9 14	65.7 44	17.9 12	50.7 34	6.0 4	3.0 2	4.5 3
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	50.5 46	28.6 26	35.2 32	16.5 15	14.3 13	60.4 55	19.8 18	45.1 41	3.3 3	4.4 4	2.2 2
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	51.8 71	27.7 38	32.1 44	14.6 20	19.7 27	56.9 78	16.8 23	46.0 63	2.9 4	5.1 7	3.6 5
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	49.1 80	23.9 39	32.5 53	14.7 24	17.8 29	58.9 96	19.0 31	51.5 84	2.5 4	3.1 5	2.5 4
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	23.1 3	30.8 4	23.1 3	7.7 1	15.4 2	61.5 8	7.7 1	53.8 7	- -	15.4 2	7.7 1

福祉専門職による地域福祉活動への支援に期待することは「地域福祉活動の担い手の養成への支援」が60.0%と最も高く、次いで「団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言」が50.4%、「活動継続への後方支援」が48.6%と続いており、地域における担い手の養成の必要性を感じている結果となっている。

## 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進について

質問 15 地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除いて、あなたの地域において地域福祉活動に参画している主体は次のうちどれですか。(回答はいくつでも可)



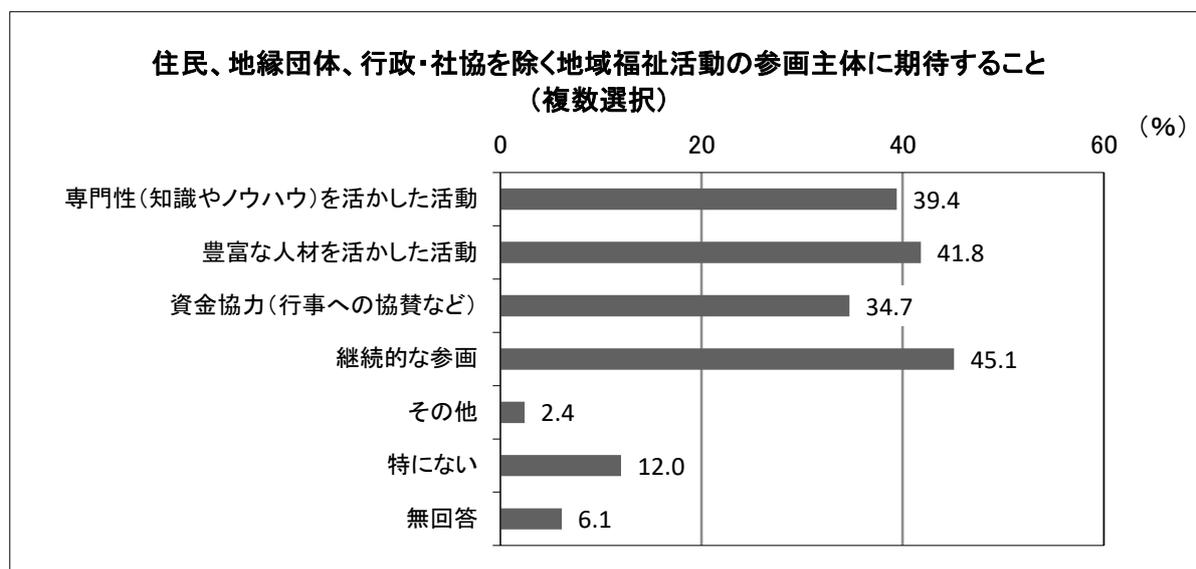
	全体	地域にあるボランティア団体やNPO法人	地域にある社会福祉法人(社会福祉施設など)	地域にある企業や個人事業主	その他	特にない	知らない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	29.6	35.1	13.9	6.1	23.5	14.9	3.3
	回答数	490	145	172	68	30	115	73	16
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	28.6	34.1	12.7	6.5	26.8	11.6	2.2
	回答数	276	79	94	35	18	74	32	6
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	30.5	35.0	16.2	4.6	19.8	19.3	4.1
	回答数	197	60	69	32	9	39	38	8
不明	割合(%)	100.0	35.3	52.9	5.9	17.6	11.8	17.6	11.8
	回答数	17	6	9	1	3	2	3	2
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	42.1	31.6	10.5	-	10.5	36.8	5.3
	回答数	19	8	6	2	-	2	7	1
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	32.8	37.3	22.4	4.5	20.9	19.4	-
	回答数	67	22	25	15	3	14	13	-
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	25.3	28.6	9.9	6.6	19.8	16.5	6.6
	回答数	91	23	26	9	6	18	15	6
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	28.5	29.9	10.2	8.0	27.0	14.6	2.2
	回答数	137	39	41	14	11	37	20	3
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	29.4	42.3	16.6	6.1	26.4	9.8	1.8
	回答数	163	48	69	27	10	43	16	3
不明	割合(%)	100.0	38.5	38.5	7.7	-	7.7	15.4	23.1
	回答数	13	5	5	1	-	1	2	3

地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除く地域福祉活動の参画主体は、「地域にある社会福祉法人(社会福祉施設など)」が35.1%と最も高く、次いで「地域にあるボランティア団体やNPO」が29.6%となっており、「特にない」が23.5%、「知らない」が14.9%となっている。

「その他」自由回答では、「地域活動協議会」、「地域のお寺」、「地域の高校生」などが挙がっていた。

## 2 調査結果

質問 16 地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除く主体が実施する地域福祉活動に期待することは次のうちどれですか。(回答はいくつでも可)

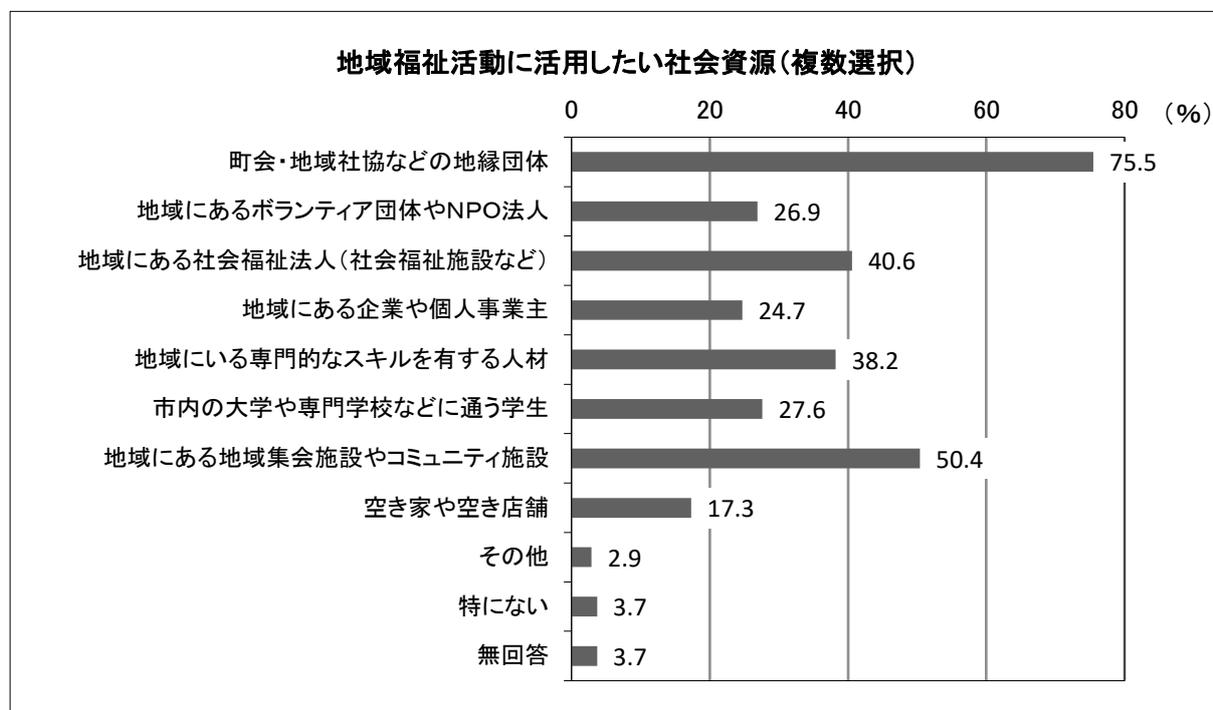


	全体	専門性 (知識やノ ウハウ)を 活かした 活動	豊富な人 材を活か した活動	資金協力 (行事へ の協賛な ど)	継続的な 参画	その他	特にない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	39.4 193	41.8 205	34.7 170	45.1 221	2.4 12	12.0 59	6.1 30
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	35.5 98	36.6 101	33.3 92	45.7 126	2.9 8	13.4 37	7.2 20
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	44.2 87	50.8 100	37.6 74	44.2 87	1.5 3	9.6 19	4.6 9
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	47.1 8	23.5 4	23.5 4	47.1 8	5.9 1	17.6 3	5.9 1
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	52.6 10	36.8 7	42.1 8	47.4 9	-	10.5 2	-
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	49.3 33	52.2 35	40.3 27	46.3 31	1.5 1	4.5 3	4.5 3
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	38.5 35	44.0 40	30.8 28	39.6 36	3.3 3	11.0 10	6.6 6
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	32.1 44	37.2 51	35.0 48	40.9 56	2.2 3	15.3 21	8.8 12
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	39.9 65	41.7 68	33.7 55	51.5 84	3.1 5	12.3 20	4.9 8
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	46.2 6	30.8 4	30.8 4	38.5 5	-	23.1 3	7.7 1

地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除く地域福祉活動の参画主体に期待することは、「継続的な参画」が45.1%と最も高く、次いで「豊富な人材を活かした活動」が41.8%、「専門性(知識やノウハウ)を活かした活動」が39.4%と続いている。

「その他」自由回答では、「若さ」、「若い人の参画」など次世代の担い手に対する期待が読み取れた。

質問 17 地域福祉活動をおこなううえで、どのような社会資源を活用したいと考えていますか。  
(回答はいくつでも可)



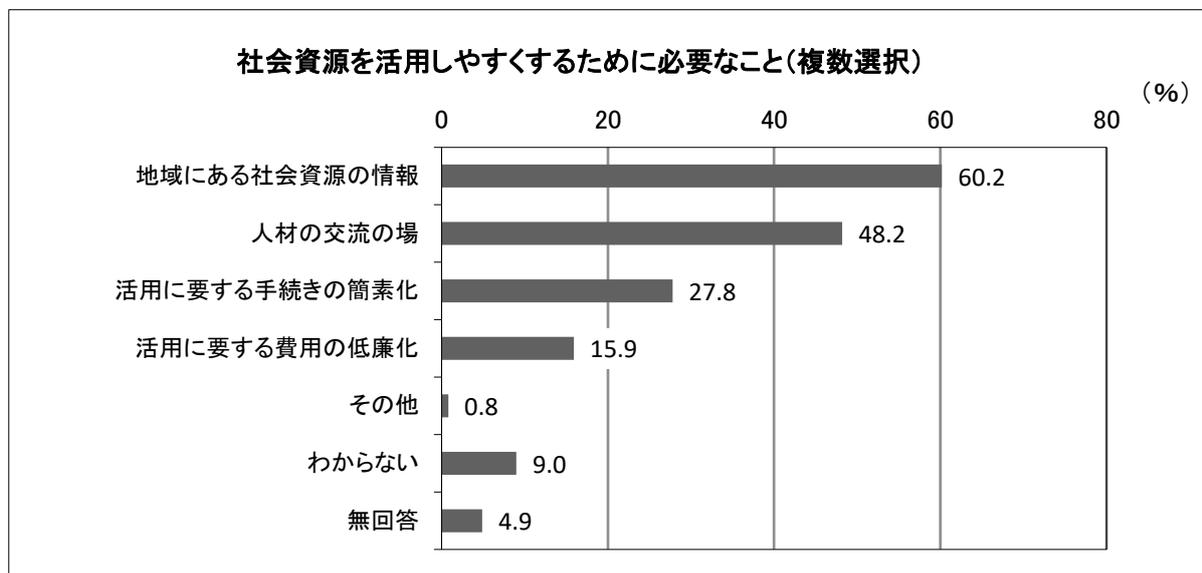
	全体	町会・地域社協などの地縁団体	地域にあるボランティア団体やNPO法人	地域にある社会福祉法人(社会福祉施設など)	地域にある企業や個人事業主	地域にいる専門的なスキルを有する人材	市内の大学や専門学校などに通う学生	地域にある地域集会施設やコミュニティ施設	空き家や空き店舗	その他	特にない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	75.5 370	26.9 132	40.6 199	24.7 121	38.2 187	27.6 135	50.4 247	17.3 85	2.9 14	3.7 18	3.7 18
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	79.3 219	22.1 61	38.8 107	21.0 58	32.6 90	24.3 67	48.9 135	13.8 38	3.3 9	3.3 9	2.9 8
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	70.1 138	33.5 66	42.6 84	29.9 59	46.7 92	31.0 61	53.3 105	22.8 45	2.5 5	4.1 8	4.6 9
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	76.5 13	29.4 5	47.1 8	23.5 4	29.4 5	41.2 7	41.2 7	11.8 2	-	5.9 1	5.9 1
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	63.2 12	47.4 9	63.2 12	26.3 5	36.8 7	15.8 3	47.4 9	15.8 3	5.3 1	10.5 2	5.3 1
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	65.7 44	34.3 23	43.3 29	38.8 26	47.8 32	35.8 24	59.7 40	23.9 16	4.5 3	4.5 3	3.0 2
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	76.9 70	23.1 21	38.5 35	23.1 21	39.6 36	26.4 24	49.5 45	24.2 22	3.3 3	1.1 1	2.2 2
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	71.5 98	24.1 33	33.6 46	21.9 30	35.0 48	24.8 34	46.7 64	15.3 21	2.2 3	4.4 6	5.8 8
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	83.4 136	26.4 43	44.2 72	22.1 36	36.2 59	28.8 47	50.9 83	12.9 21	2.5 4	3.1 5	3.1 5
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	76.9 10	23.1 3	38.5 5	23.1 3	38.5 5	23.1 3	46.2 6	15.4 2	-	7.7 1	-

地域福祉活動に活用したい社会資源は、「町会・地域社協などの地縁団体」が75.5%と最も高く、次いで「地域にある地域集会施設やコミュニティ施設」が50.5%、「地域にある社会福祉法人(社会福祉施設など)」が40.6%となっており、ソフト面・ハード面どちらも必要としていることが分かる。

「その他」自由回答では、「小学校・中学校の校舎」などが挙がっている。

2 調査結果

質問 18 地域にある社会資源を活用しやすくするには何が必要と考えますか。(回答はいくつでも可)

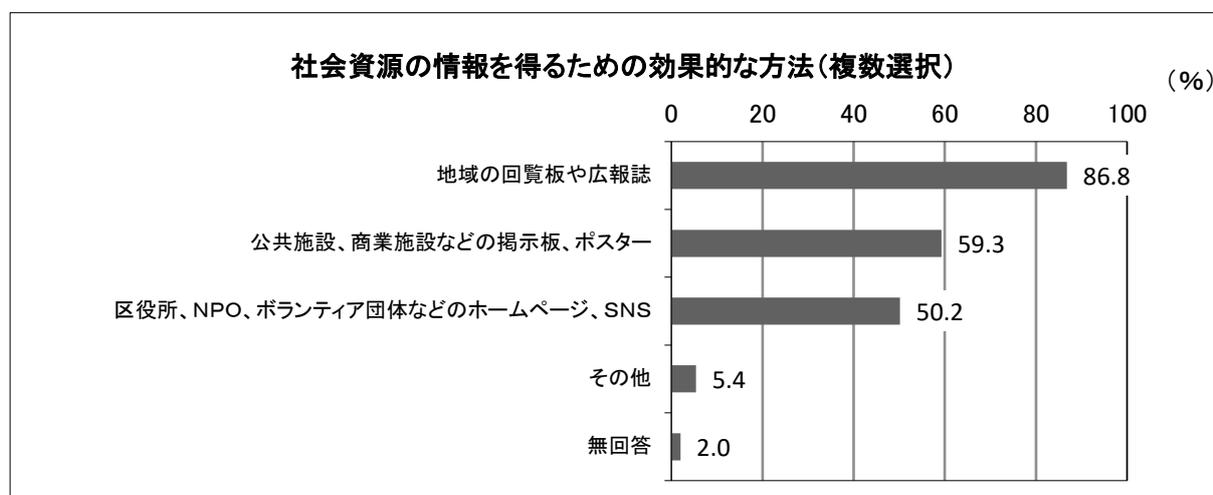


		全体	地域にある社会資源の情報	人材の交流の場	活用に要する手続きの簡素化	活用に要する費用の低廉化	その他	わからない	無回答
全体	割合(%)	100.0	60.2	48.2	27.8	15.9	0.8	9.0	4.9
	回答数	490	295	236	136	78	4	44	24
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	56.9	44.9	27.5	15.9	0.7	8.0	5.8
	回答数	276	157	124	76	44	2	22	16
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	66.0	52.8	27.9	15.7	1.0	10.7	2.5
	回答数	197	130	104	55	31	2	21	5
不明	割合(%)	100.0	47.1	47.1	29.4	17.6	-	5.9	17.6
	回答数	17	8	8	5	3	-	1	3
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	68.4	47.4	10.5	10.5	-	10.5	-
	回答数	19	13	9	2	2	-	2	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	58.2	53.7	32.8	16.4	1.5	16.4	-
	回答数	67	39	36	22	11	1	11	-
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	62.6	54.9	26.4	18.7	1.1	7.7	3.3
	回答数	91	57	50	24	17	1	7	3
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	54.7	43.8	27.0	16.1	0.7	8.8	7.3
	回答数	137	75	60	37	22	1	12	10
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	64.4	46.0	30.1	16.0	0.6	6.7	6.1
	回答数	163	105	75	49	26	1	11	10
不明	割合(%)	100.0	46.2	46.2	15.4	-	-	7.7	7.7
	回答数	13	6	6	2	-	-	1	1

社会資源を活用しやすくするために必要なことでは、「地域にある社会資源の情報」が60.2%と最も高く、次いで「人材の交流の場」が48.2%となっている。

[質問 18 で「1 地域にある社会資源の情報」と答えた方にお聞きします。]

質問 18-1 地域にある社会資源の情報を得るために効果的な方法と考えるのは次のうちどれですか。(回答はいくつでも可)



	全体	地域の回覧板や広報誌	公共施設、商業施設などの掲示板、ポスター	区役所、NPO、ボランティア団体などのホームページ、SNS	その他	無回答	
全体	割合(%)	100.0	86.8	59.3	50.2	5.4	2.0
	回答数	295	256	175	148	16	6
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	85.4	55.4	51.6	2.5	2.5
	回答数	157	134	87	81	4	4
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	89.2	64.6	48.5	8.5	0.8
	回答数	130	116	84	63	11	1
不明	割合(%)	100.0	75.0	50.0	50.0	12.5	12.5
	回答数	8	6	4	4	1	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	92.3	76.9	38.5	-	-
	回答数	13	12	10	5	-	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	87.2	64.1	64.1	15.4	-
	回答数	39	34	25	25	6	-
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	87.7	64.9	43.9	1.8	1.8
	回答数	57	50	37	25	1	1
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	90.7	54.7	46.7	5.3	-
	回答数	75	68	41	35	4	-
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	83.8	55.2	53.3	3.8	3.8
	回答数	105	88	58	56	4	4
不明	割合(%)	100.0	66.7	66.7	33.3	16.7	16.7
	回答数	6	4	4	2	1	1

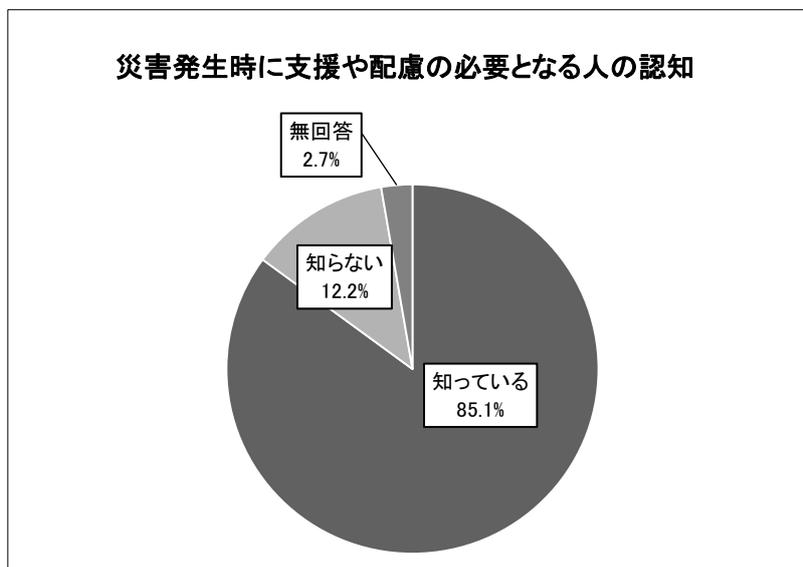
社会資源の情報を得るための効果的な方法は、「地域の回覧板や広報誌」が 86.8%と最も高く、次いで「公共施設、商業施設などの掲示板、ポスター」が 59.3%、「区役所、NPO、ボランティア団体などのホームページ、SNS」が 50.2%となっている。

「その他」自由回答では、「口コミ」、「情報交換会」、「交流の場での意見交換」などが挙がっていた。

## 2 調査結果

### 災害への備えについて

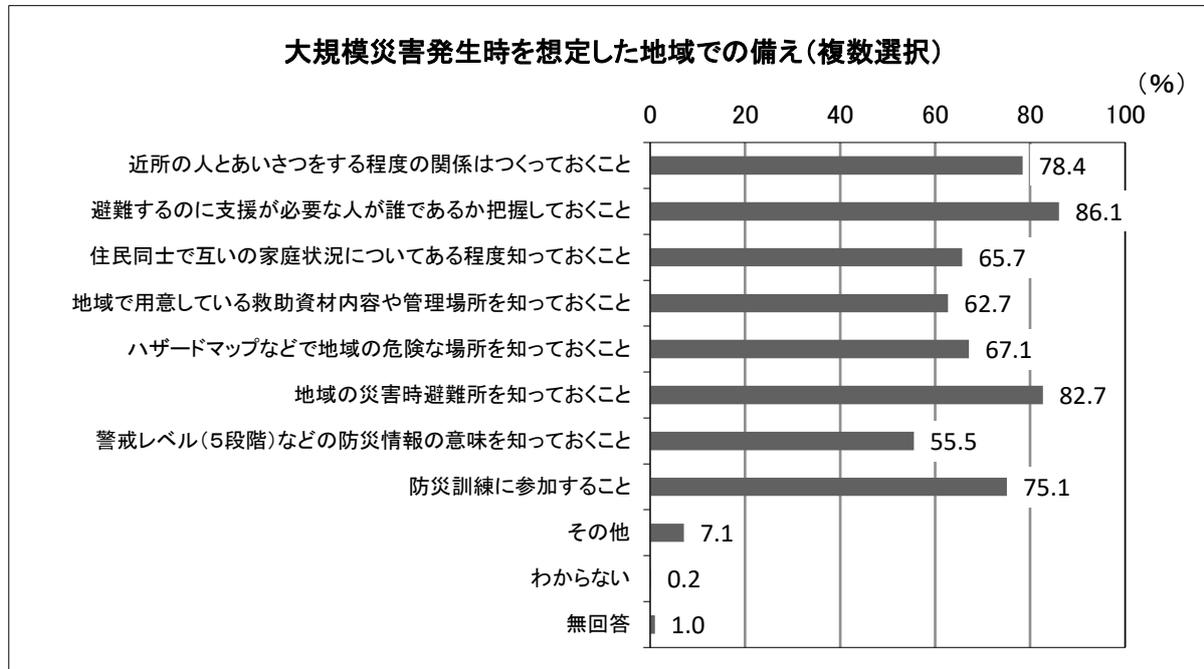
質問 19 お住いの地域で、避難や救助が必要となる災害が発生した場合、高齢者や障がいのある方など避難の支援や生活上の配慮が必要となる人を知っていますか。



		全 体	知ってい る	知らない	無回答
全 体	割合(%)	100.0	85.1	12.2	2.7
	回答数	490	417	60	13
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	88.8	8.3	2.9
	回答数	276	245	23	8
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	80.2	17.8	2.0
	回答数	197	158	35	4
不明	割合(%)	100.0	82.4	11.8	5.9
	回答数	17	14	2	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	68.4	26.3	5.3
	回答数	19	13	5	1
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	83.6	16.4	-
	回答数	67	56	11	-
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	81.3	16.5	2.2
	回答数	91	74	15	2
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	83.2	12.4	4.4
	回答数	137	114	17	6
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	90.8	6.7	2.5
	回答数	163	148	11	4
不明	割合(%)	100.0	92.3	7.7	-
	回答数	13	12	1	-

居住地域で、避難や救助が必要となる災害が発生した場合、高齢者や障がいのある方など避難の支援や生活上の配慮が必要となる人を「知っている」推進役は、85.1%と高くなっており、地域において推進役は災害時の備えの面でも重要な役割を担っていると考えられる。

質問 20 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営を行うことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。(回答はいくつでも可)



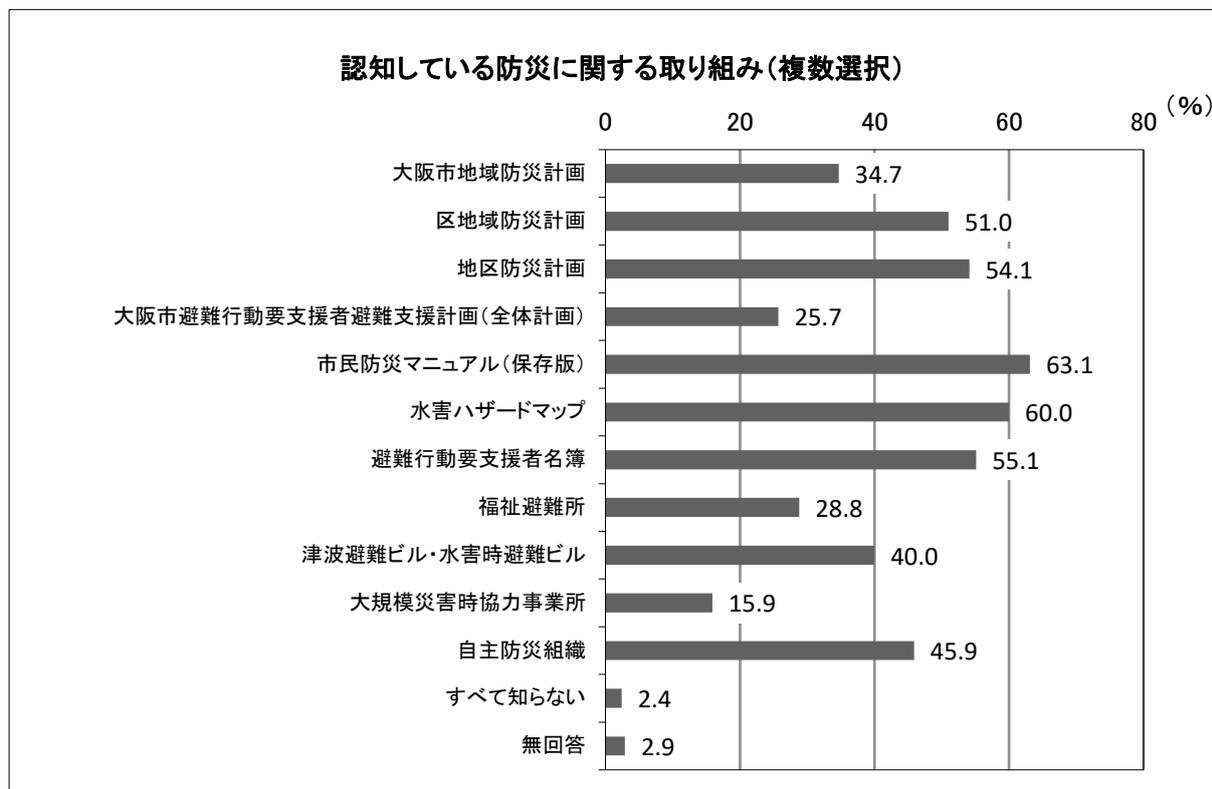
	全体	近所の人とあいさつをする程度は関係はつくっておくこと	避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと	住民同士で互いの家庭状況についてある程度知っておくこと	地域で用意している救助資材内容や管理場所を知っておくこと	ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと	地域の災害時避難所を知っておくこと	警戒レベル(5段階)などの防災情報の意味を知っておくこと	防災訓練に参加すること	その他	わからない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	78.4 384	86.1 422	65.7 322	62.7 307	67.1 329	82.7 405	55.5 272	75.1 368	7.1 35	0.2 1	1.0 5
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	74.6 206	87.0 240	65.9 182	58.3 161	65.2 180	82.2 227	53.6 148	74.3 205	4.3 12	0.4 1	1.4 4
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	83.2 164	85.8 169	64.5 127	68.0 134	70.6 139	83.2 164	57.9 114	75.6 149	10.7 21	-	0.5 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	82.4 14	76.5 13	76.5 13	70.6 12	58.8 10	82.4 14	58.8 10	82.4 14	11.8 2	-	-
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	78.9 15	84.2 16	68.4 13	42.1 8	63.2 12	78.9 15	42.1 8	57.9 11	5.3 1	-	5.3 1
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	85.1 57	86.6 58	61.2 41	68.7 46	65.7 44	80.6 54	50.7 34	68.7 46	14.9 10	-	-
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	76.9 70	86.8 79	61.5 56	64.8 59	74.7 68	82.4 75	58.2 53	78.0 71	6.6 6	-	-
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	74.5 102	86.9 119	65.0 89	62.8 86	62.0 85	81.8 112	51.8 71	78.1 107	5.1 7	0.7 1	2.2 3
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	78.5 128	85.9 140	71.2 116	60.1 98	68.1 111	85.3 139	61.3 100	74.8 122	6.1 10	-	0.6 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	92.3 12	76.9 10	53.8 7	76.9 10	69.2 9	76.9 10	46.2 6	84.6 11	7.7 1	-	-

大規模災害発生時を想定した地域での備えは、最も高い「避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと」では86.1%、最も低い「警戒レベル(5段階)などの防災情報の意味を知っておくこと」でも55.5%と、いずれも高い割合となっており、日ごろから大規模災害を意識して活動していることが分かる。

「その他」自由回答では、「災害時に必要と思われる物を用意してストックしておく」、「水と食料を備蓄する」など、実際に災害を想定して積極的に準備をしているという意見が見られた。

2 調査結果

質問 21 防災に関する次の取り組みのうち、ご存知のものはどれですか。(回答はいくつでも可)

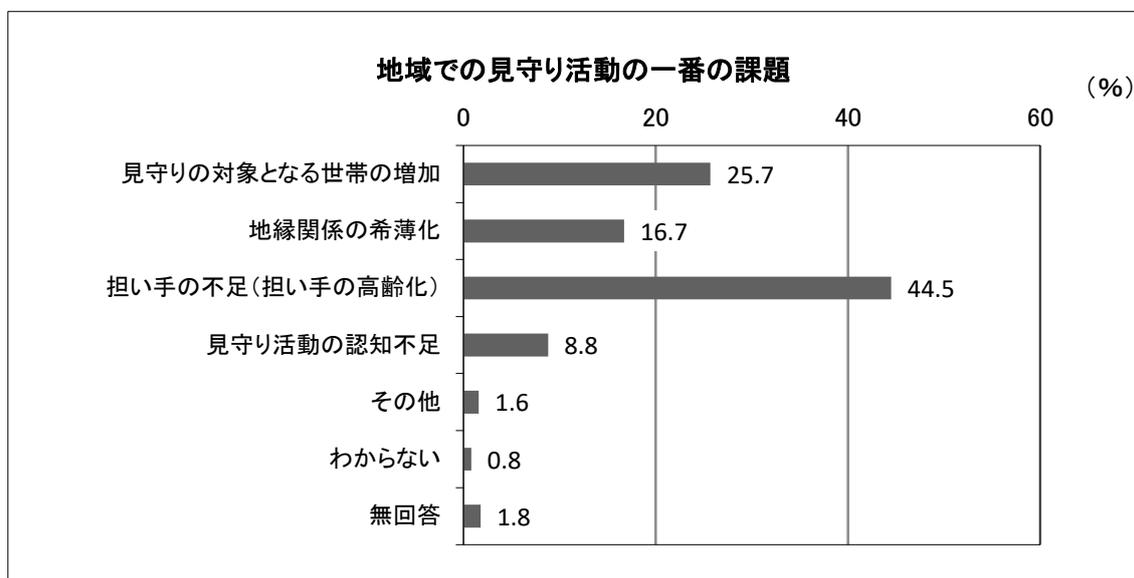


	全体	大阪市地域防災計画	区地域防災計画	地区防災計画	大阪市避難行動要支援者避難支援計画(全体計画)	市民防災マニュアル(保存版)	水害ハザードマップ	避難行動要支援者名簿	福祉避難所	津波避難ビル・水害時避難ビル	大規模災害時協力事業所	自主防災組織	すべて知らない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	34.7 170	51.0 250	54.1 265	25.7 126	63.1 309	60.0 294	55.1 270	28.8 141	40.0 196	15.9 78	45.9 225	2.4 12	2.9 14
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	37.7 104	52.2 144	58.3 161	25.4 70	60.5 167	55.8 154	60.5 167	28.6 79	36.2 100	16.3 45	49.3 136	1.4 4	2.9 8
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	31.0 61	48.2 95	48.7 96	26.4 52	66.0 130	66.0 130	48.2 95	29.4 58	46.2 91	15.2 30	42.1 83	3.6 7	3.0 6
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	29.4 5	64.7 11	47.1 8	23.5 4	70.6 12	58.8 10	47.1 8	23.5 4	29.4 5	17.6 3	35.3 6	5.9 1	-
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	10.5 2	21.1 4	10.5 2	15.8 3	42.1 8	42.1 8	26.3 5	10.5 2	36.8 7	10.5 2	36.8 7	15.8 3	-
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	31.3 21	40.3 27	41.8 28	22.4 15	62.7 42	73.1 49	47.8 32	29.9 20	49.3 33	14.9 10	34.3 23	-	3.0 2
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	29.7 27	48.4 44	59.3 54	22.0 20	67.0 61	60.4 55	52.7 48	24.2 22	39.6 36	12.1 11	44.0 40	5.5 5	2.2 2
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	32.8 45	46.7 64	54.0 74	24.1 33	62.0 85	59.9 82	54.7 75	29.9 41	41.6 57	16.8 23	48.2 66	0.7 1	3.6 5
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	43.6 71	63.2 103	62.0 101	30.7 50	63.8 104	57.1 93	63.8 104	31.9 52	35.6 58	18.4 30	50.9 83	1.2 2	2.5 4
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	30.8 4	61.5 8	46.2 6	38.5 5	69.2 9	53.8 7	46.2 6	30.8 4	38.5 5	15.4 2	46.2 6	7.7 1	7.7 1

認知している防災に関する取り組みでは、「市民防災マニュアル(保存版)」(63.1%)、「水害ハザードマップ」(60.0%)、「避難行動要支援者名簿」(55.1%)、「地区防災計画」(54.1%)、「区地域防災計画」(51.0%)などが高い認知度を示している。

## 地域における見守り活動について

質問 22 大阪市では、民生委員・児童委員による訪問活動や、ボランティアによる児童の登下校の見守り、老人クラブなどの地域住民による友愛訪問、災害時の要援護者名簿を活用した地域での見守り活動などがおこなわれていますが、地域でおこなわれている見守り活動の一番の課題は何であると考えますか。(回答は1つ)



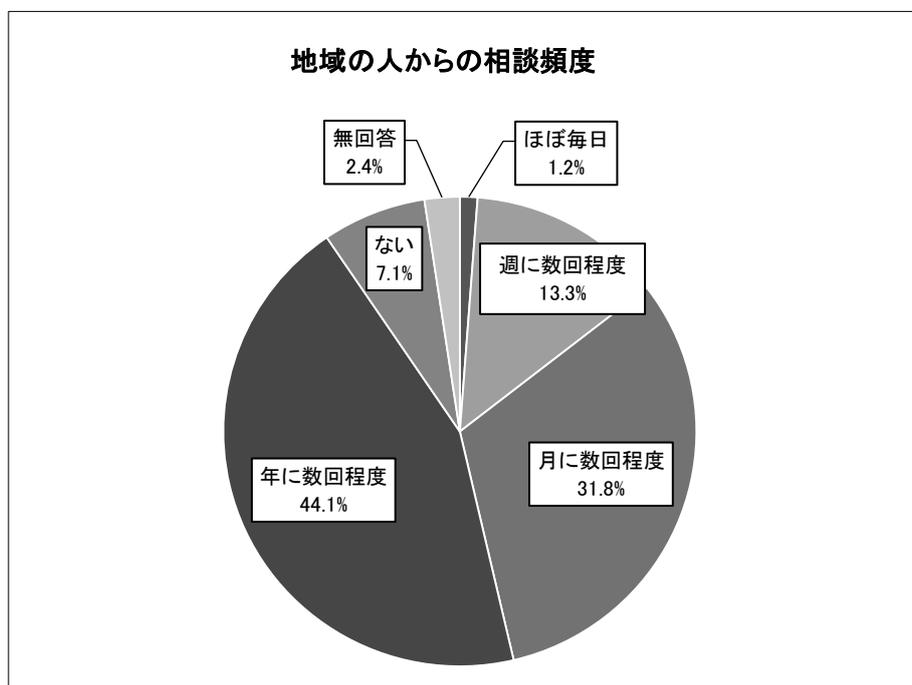
		全体	見守りの対象となる世帯の増加	地縁関係の希薄化	担い手の不足(担い手の高齢化)	見守り活動の認知不足	その他	わからない	無回答
全体	割合(%)	100.0	25.7	16.7	44.5	8.8	1.6	0.8	1.8
	回答数	490	126	82	218	43	8	4	9
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	29.0	16.7	43.5	7.2	1.8	0.4	1.4
	回答数	276	80	46	120	20	5	1	4
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	22.3	16.2	45.2	11.2	1.5	1.5	2.0
	回答数	197	44	32	89	22	3	3	4
不明	割合(%)	100.0	11.8	23.5	52.9	5.9	-	-	5.9
	回答数	17	2	4	9	1	-	-	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	26.3	21.1	36.8	10.5	-	5.3	-
	回答数	19	5	4	7	2	-	1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	22.4	19.4	49.3	6.0	-	-	3.0
	回答数	67	15	13	33	4	-	-	2
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	18.7	20.9	40.7	13.2	4.4	1.1	1.1
	回答数	91	17	19	37	12	4	1	1
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	29.9	10.2	47.4	8.8	1.5	0.7	1.5
	回答数	137	41	14	65	12	2	1	2
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	28.8	16.6	42.9	8.0	1.2	0.6	1.8
	回答数	163	47	27	70	13	2	1	3
不明	割合(%)	100.0	7.7	38.5	46.2	-	-	-	7.7
	回答数	13	1	5	6	-	-	-	1

地域での見守り活動の一番の課題は、「担い手の不足(担い手の高齢化)」が44.5%と最も高くなっており、担い手不足が深刻化していることが分かる。

## 2 調査結果

### 相談支援体制の充実に向けて

**質問 23** 地域の人から困りごとなどの相談を受けたことはありますか。また、その頻度はどれくらいですか。あなたの状況に近い答えを選んでください。(回答は1つ)

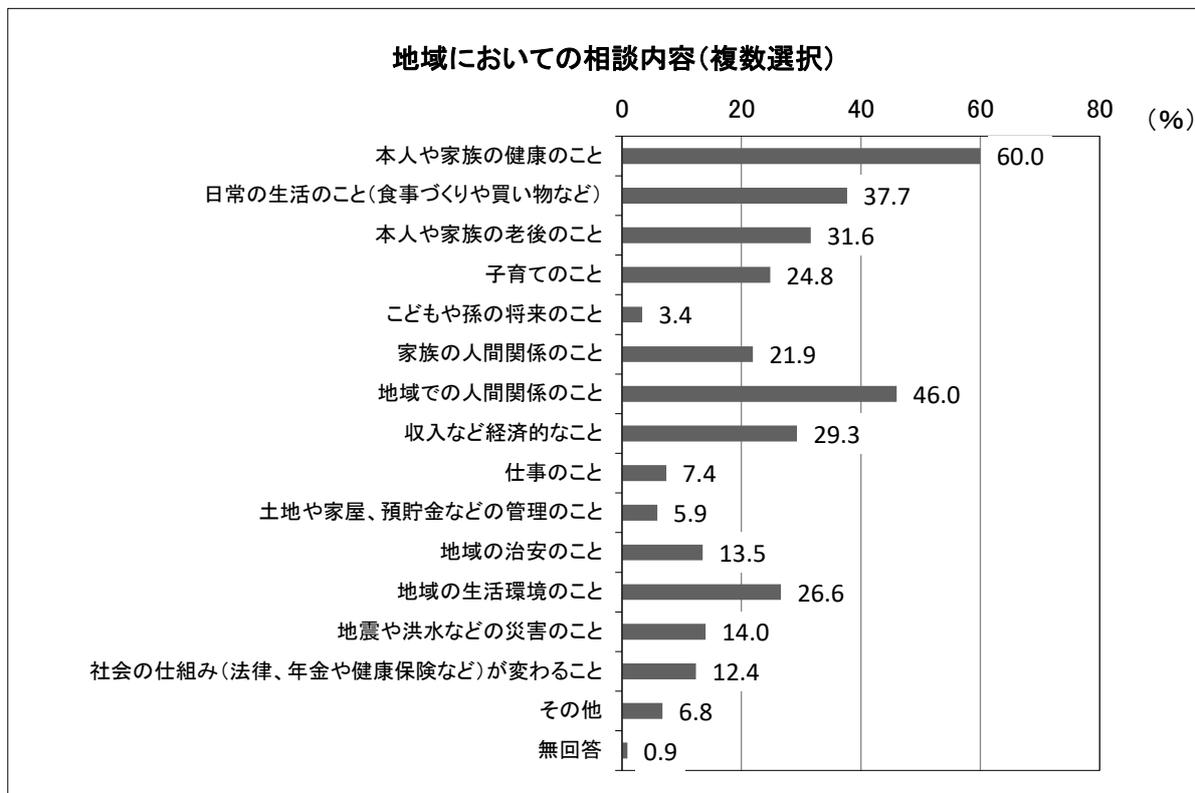


		全 体	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ない	無回答
全 体	割合(%)	100.0	1.2	13.3	31.8	44.1	7.1	2.4
	回答数	490	6	65	156	216	35	12
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	0.4	7.6	26.8	53.6	9.8	1.8
	回答数	276	1	21	74	148	27	5
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	2.5	21.8	38.6	29.9	4.1	3.0
	回答数	197	5	43	76	59	8	6
不明	割合(%)	100.0	-	5.9	35.3	52.9	-	5.9
	回答数	17	-	1	6	9	-	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	-	5.3	57.9	21.1	15.8	-
	回答数	19	-	1	11	4	3	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	1.5	16.4	38.8	34.3	4.5	4.5
	回答数	67	1	11	26	23	3	3
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	2.2	19.8	34.1	37.4	4.4	2.2
	回答数	91	2	18	31	34	4	2
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	-	13.9	24.8	49.6	9.5	2.2
	回答数	137	-	19	34	68	13	3
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	1.8	9.8	29.4	50.3	6.7	1.8
	回答数	163	3	16	48	82	11	3
不明	割合(%)	100.0	-	-	46.2	38.5	7.7	7.7
	回答数	13	-	-	6	5	1	1

地域の人からの相談頻度では、「年に数回程度」が44.1%で最も高く、次いで「月に数回程度」が31.8%、「週に数回程度」が13.3%、「ほぼ毎日」が1.2%となっている。

[質問23で「1～4 ある」と答えた人にお聞きします]

質問23-1 地域においてどのような相談を受けることが多いですか。(回答はいくつでも可)

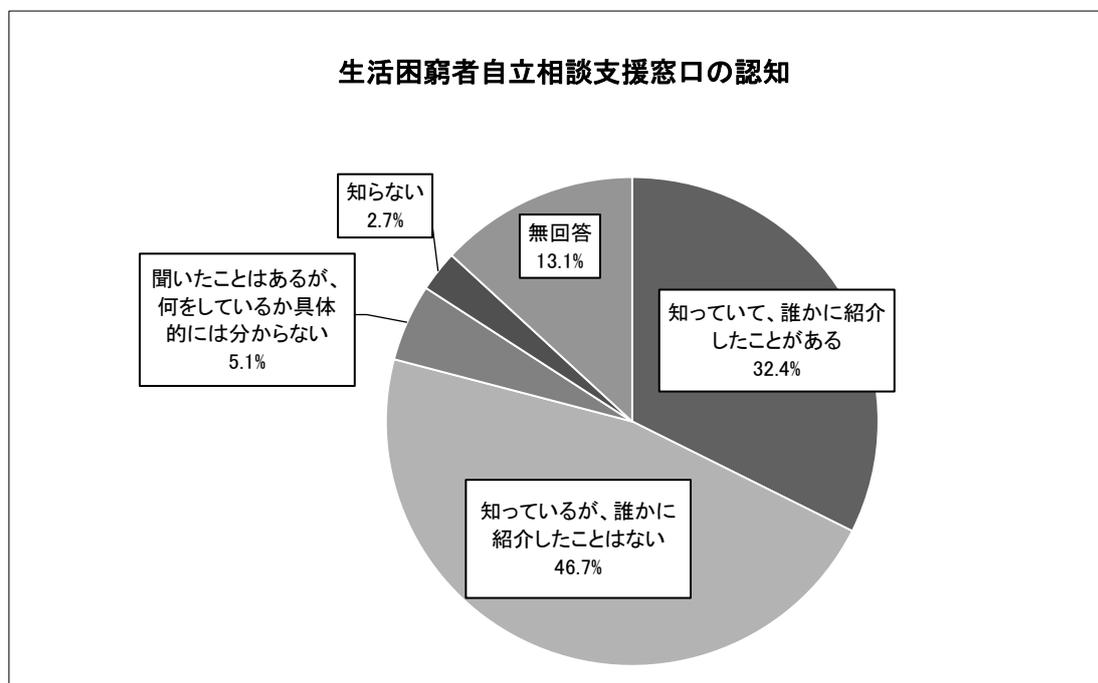


	全体	本人や家族の健康のこと	日常生活のこと(食事づくりや買い物など)	本人や家族の老後のこと	子育てのこと	子どもや孫の将来のこと	家族の人間関係のこと	地域での人間関係のこと	収入など経済的なこと	仕事のこと	土地や家屋、預貯金などの管理のこと	地域の治安のこと	地域の生活環境のこと	地震や洪水などの災害のこと	社会の仕組み(法律、年金や健康保険など)が変わること	その他	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 443	60.0 266	37.7 167	31.6 140	24.8 110	3.4 15	21.9 97	46.0 204	29.3 130	7.4 33	5.9 26	13.5 60	26.6 118	14.0 62	12.4 55	6.8 30	0.9 4
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 244	51.6 126	29.1 71	28.3 69	32.0 78	2.9 7	18.9 46	44.3 108	36.5 89	8.6 21	5.7 14	15.2 37	31.1 76	13.1 32	11.1 27	3.7 9	1.2 3
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 183	71.0 130	49.7 91	37.2 68	15.3 28	4.4 8	26.2 48	48.1 88	19.1 35	6.0 11	6.0 11	11.5 21	20.2 37	14.8 27	14.8 27	9.8 18	0.5 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 16	62.5 10	31.3 5	18.8 3	25.0 4	- -	18.8 3	50.0 8	37.5 6	6.3 1	6.3 1	12.5 2	31.3 5	18.8 3	6.3 1	18.8 3	- -
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 16	81.3 13	50.0 8	18.8 3	12.5 2	6.3 1	6.3 1	31.3 5	12.5 2	6.3 1	6.3 1	6.3 1	- -	6.3 1	- -	6.3 1	- -
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 61	65.6 40	50.8 31	39.3 24	18.0 11	1.6 1	26.2 16	54.1 33	14.8 9	3.3 2	3.3 2	3.3 2	16.4 10	4.9 3	16.4 10	8.2 5	- -
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 85	69.4 59	43.5 37	32.9 28	17.6 15	5.9 5	21.2 18	40.0 34	25.9 22	10.6 9	7.1 6	22.4 19	30.6 26	22.4 19	16.5 14	10.6 9	1.2 1
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 121	57.9 70	28.9 35	25.6 31	26.4 32	1.7 2	21.5 26	48.8 59	28.1 34	6.6 8	9.1 11	13.2 16	27.3 33	13.2 16	9.1 11	6.6 8	1.7 2
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 149	52.3 78	35.6 53	34.2 51	32.9 49	4.0 6	22.8 34	46.3 69	40.3 60	8.7 13	3.4 5	13.4 20	31.5 47	13.4 20	12.8 19	4.0 6	0.7 1
不明	割合(%) 100.0 回答数 11	54.5 6	27.3 3	27.3 3	9.1 1	- -	18.2 2	36.4 4	27.3 3	- -	9.1 1	18.2 2	18.2 2	27.3 3	9.1 1	9.1 1	- -

地域における相談内容では、「本人や家族の健康のこと」が60.0%と最も高く、次いで「地域での人間関係のこと」が46.0%、「日常生活のこと(食事づくりや買い物など)」が37.7%となっており、その他様々な相談に乗っていることが分かる。

## 2 調査結果

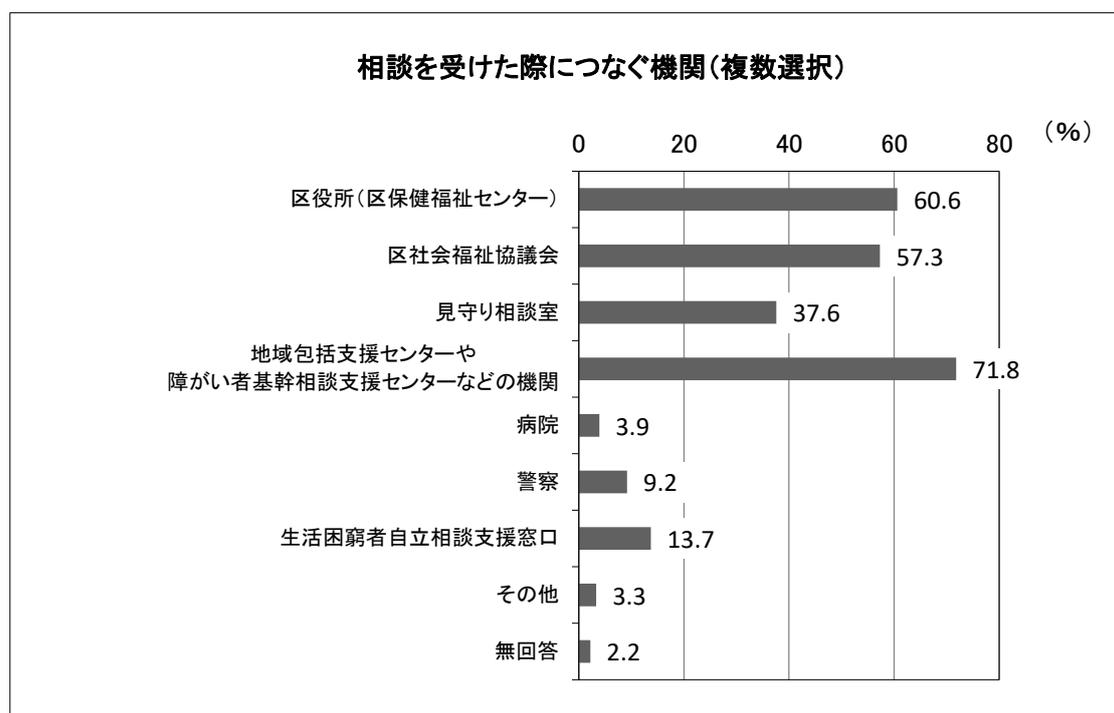
質問 24 生活に困りごとを抱えた方に向けて、生活保護に至る前の早い段階から支援をおこなう窓口（生活困窮者自立相談支援窓口）が各区役所に設置されていることを、ご存知ですか。（回答は1つ）



		全体	知っている、誰かに紹介したことがある	知っているが、誰かに紹介したことはない	聞いたことはあるが、何をしているか具体的には分からない	知らない	無回答
		割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
全体	割合(%)	100.0	32.4	46.7	5.1	2.7	13.1
全体	回答数	490	159	229	25	13	64
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	35.9	46.0	1.8	1.4	14.9
民生委員・児童委員	回答数	276	99	127	5	4	41
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	26.9	49.7	9.6	4.1	9.6
地域福祉コーディネータ等	回答数	197	53	98	19	8	19
不明	割合(%)	100.0	41.2	23.5	5.9	5.9	23.5
不明	回答数	17	7	4	1	1	4
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	5.3	63.2	15.8	5.3	10.5
在任期間1年未満	回答数	19	1	12	3	1	2
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	20.9	46.3	16.4	6.0	10.4
在任期間1年～5年未満	回答数	67	14	31	11	4	7
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	35.2	48.4	2.2	3.3	11.0
在任期間5年～10年未満	回答数	91	32	44	2	3	10
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	29.9	48.9	3.6	2.9	14.6
在任期間10年～20年未満	回答数	137	41	67	5	4	20
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	40.5	42.9	1.8	0.6	14.1
在任期間20年以上	回答数	163	66	70	3	1	23
不明	割合(%)	100.0	38.5	38.5	7.7	-	15.4
不明	回答数	13	5	5	1	-	2

生活困窮者自立相談支援窓口の認知について、「知っている、誰かに紹介したことがある」が32.4%、「知っているが、誰かに紹介したことはない」が46.7%となっており、あわせて79.1%が認知していることが分かる。

質問 25 地域の方から相談を受けた際によくつなぐ機関はどこですか。(回答はいくつでも可)

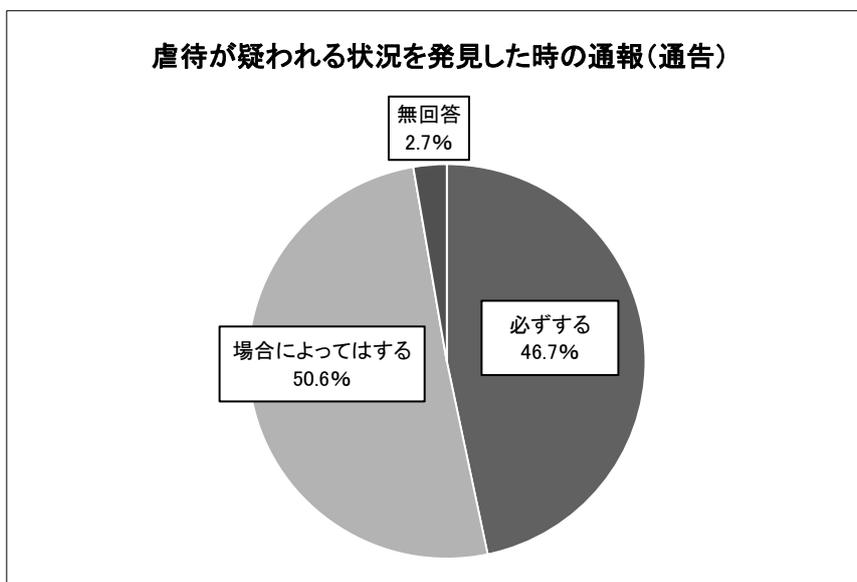


	全体	区役所 (区保健福祉センター)	区社会福祉協議会	見守り相談室	地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センターなどの機関	病院	警察	生活困窮者自立相談支援窓口	その他	無回答	
全体	割合(%)	100.0	60.6	57.3	37.6	71.8	3.9	9.2	13.7	3.3	2.2
	回答数	490	297	281	184	352	19	45	67	16	11
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	82.2	48.2	29.3	70.3	3.6	11.2	18.8	1.1	2.2
	回答数	276	227	133	81	194	10	31	52	3	6
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	32.5	69.5	48.2	73.6	4.6	6.1	6.6	5.6	2.5
	回答数	197	64	137	95	145	9	12	13	11	5
不明	割合(%)	100.0	35.3	64.7	47.1	76.5	-	11.8	11.8	11.8	-
	回答数	17	6	11	8	13	-	2	2	2	-
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	26.3	78.9	52.6	47.4	-	5.3	-	-	-
	回答数	19	5	15	10	9	-	1	-	-	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	35.8	70.1	43.3	71.6	4.5	9.0	7.5	4.5	4.5
	回答数	67	24	47	29	48	3	6	5	3	3
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	42.9	59.3	35.2	78.0	2.2	4.4	8.8	5.5	3.3
	回答数	91	39	54	32	71	2	4	8	5	3
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	64.2	54.7	32.1	74.5	2.9	9.5	9.5	2.9	1.5
	回答数	137	88	75	44	102	4	13	13	4	2
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	82.8	50.3	38.7	68.7	6.1	11.7	23.9	2.5	1.8
	回答数	163	135	82	63	112	10	19	39	4	3
不明	割合(%)	100.0	46.2	61.5	46.2	76.9	-	15.4	15.4	-	-
	回答数	13	6	8	6	10	-	2	2	-	-

相談を受けた際につなぐ機関は、「地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センターなどの機関」が71.8%と高く、次いで「区役所(保健福祉センター)」が60.6%、「区社会福祉協議会」が57.3%となっている。

## 虐待防止の取り組みについて

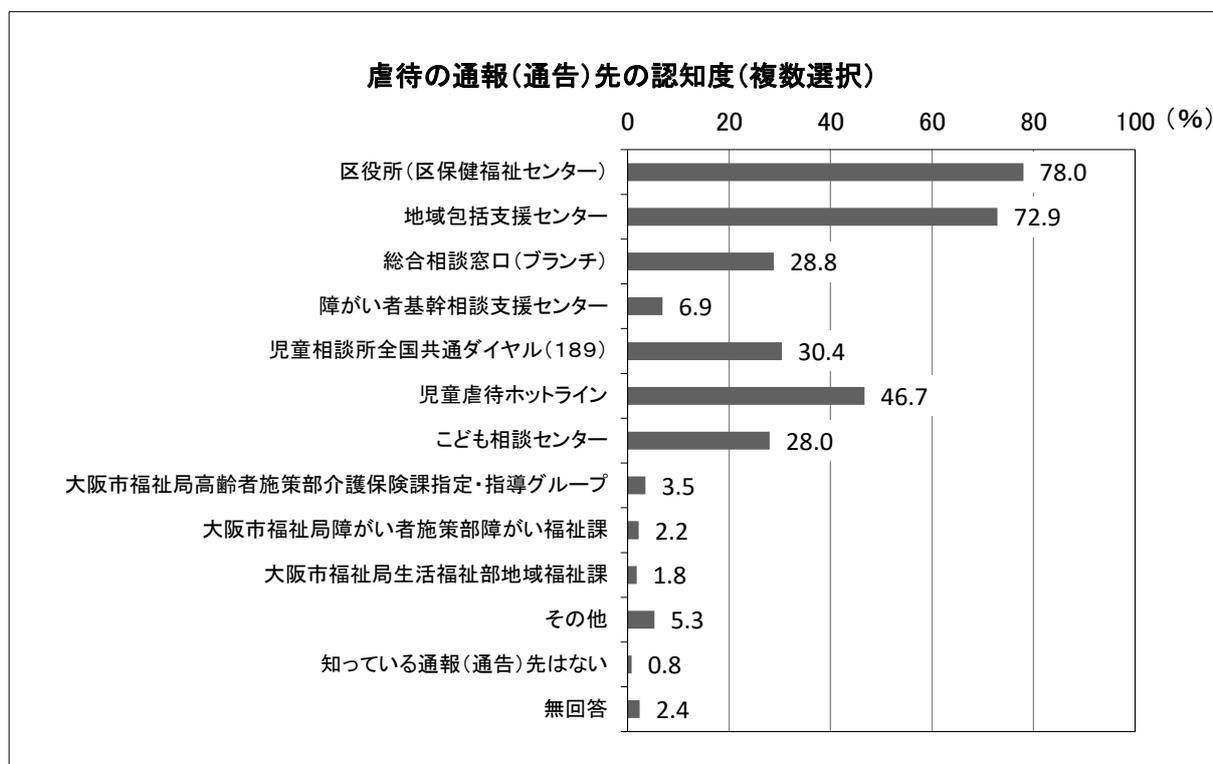
質問 26 高齢者や障がいのある方、児童への虐待の疑いがある状況を発見した場合、通報（通告）しますか。あなたの考えにいちばん近い答えはどれですか。（回答は1つ）



		全体	必ずする	場合によつてはする	しない	無回答
全体	割合(%)	100.0	46.7	50.6	0.0	2.7
	回答数	490	229	248	-	13
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	52.2	46.0	-	1.8
	回答数	276	144	127	-	5
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	40.6	55.8	-	3.6
	回答数	197	80	110	-	7
不明	割合(%)	100.0	29.4	64.7	-	5.9
	回答数	17	5	11	-	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	42.1	57.9	-	-
	回答数	19	8	11	-	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	35.8	58.2	-	6.0
	回答数	67	24	39	-	4
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	56.0	40.7	-	3.3
	回答数	91	51	37	-	3
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	48.2	48.9	-	2.9
	回答数	137	66	67	-	4
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	48.5	50.9	-	0.6
	回答数	163	79	83	-	1
不明	割合(%)	100.0	7.7	84.6	-	7.7
	回答数	13	1	11	-	1

虐待が疑われる状況を発見した時の通報（通告）について、「必ずする」が46.7%、「場合によってはする」が50.6%となっており、通報（通告）の必要性について一定の理解はされているものの、通報（通告）することに慎重であることが分かる。

質問 27 虐待を通報（通告）する場合、どのような通報（通告）先をご存知ですか。（回答はいくつでも可）

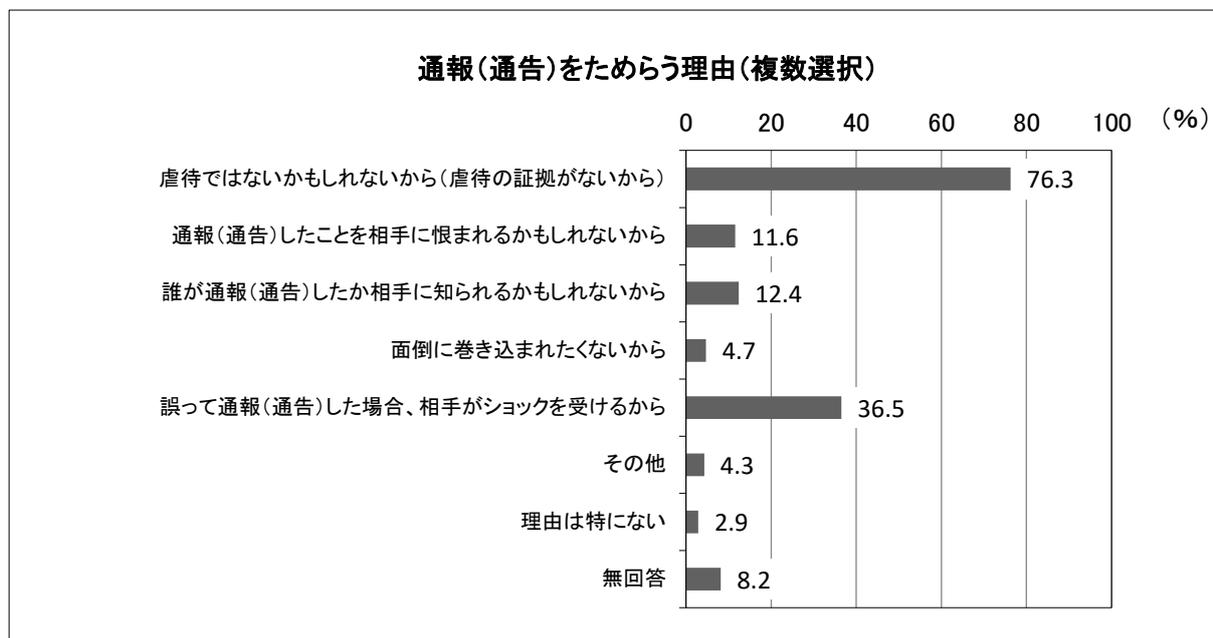


	全体	区役所 (区保健福祉センター)	地域包括 支援センター	総合相談 窓口(プランチ)	障がい者 基幹相談 支援センター	児童相談 所全国共 通ダイヤ ル(189)	児童虐待 ホットラ イン	こども相 談セン ター	大阪市福 祉局高 齢者施 策部介 護保険 課指定 ・指導 グルー プ	大阪市福 祉局障 がい者 施策部 障がい 福祉課	大阪市福 祉局生 活福祉 部地域 福祉課	その他	知ってい る通報（通 告）先は ない	無回答	
全体	割合(%) 回答数	100.0 490	78.0 382	72.9 357	28.8 141	6.9 34	30.4 149	46.7 229	28.0 137	3.5 17	2.2 11	1.8 9	5.3 26	0.8 4	2.4 12
民生委員・児童委員	割合(%) 回答数	100.0 276	82.6 228	68.5 189	23.6 65	5.4 15	38.4 106	49.6 137	34.1 94	3.6 10	2.2 6	2.2 6	6.9 19	0.4 1	1.8 5
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 回答数	100.0 197	72.1 142	78.2 154	35.5 70	8.6 17	19.8 39	44.2 87	19.8 39	3.6 7	2.5 5	1.5 3	3.0 6	1.5 3	3.0 6
不明	割合(%) 回答数	100.0 17	70.6 12	82.4 14	35.3 6	11.8 2	23.5 4	29.4 5	23.5 4	-	-	-	5.9 1	-	5.9 1
在任期間1年未満	割合(%) 回答数	100.0 19	63.2 12	63.2 12	31.6 6	-	10.5 2	42.1 8	10.5 2	-	-	-	-	5.3 1	-
在任期間1年～5年未満	割合(%) 回答数	100.0 67	64.2 43	74.6 50	37.3 25	10.4 7	19.4 13	47.8 32	10.4 7	4.5 3	1.5 1	-	4.5 3	1.5 1	6.0 4
在任期間5年～10年未満	割合(%) 回答数	100.0 91	72.5 66	79.1 72	34.1 31	4.4 4	23.1 21	46.2 42	29.7 27	3.3 3	1.1 1	1.1 1	1.1 1	1.1 1	3.3 3
在任期間10年～20年未満	割合(%) 回答数	100.0 137	82.5 113	69.3 95	24.8 34	6.6 9	36.5 50	46.7 64	32.1 44	4.4 6	2.9 4	2.2 3	8.0 11	-	2.2 3
在任期間20年以上	割合(%) 回答数	100.0 163	84.0 137	72.4 118	25.2 41	7.4 12	36.8 60	48.5 79	33.1 54	3.1 5	3.1 5	3.1 5	6.1 10	0.6 1	0.6 1
不明	割合(%) 回答数	100.0 13	84.6 11	76.9 10	30.8 4	15.4 2	23.1 3	30.8 4	23.1 3	-	-	-	7.7 1	-	7.7 1

虐待の通報（通告）先の認知度では、「区役所(保健福祉センター)」(78.0%)、「地域包括支援センター」(72.9%)の認知度が突出している。また、児童虐待の通告先としては「児童虐待ホットライン」(46.7%)及び「児童相談所全国共通ダイヤル(189)」(30.4%)が認知されている。

## 2 調査結果

質問 28 虐待の通報（通告）をためらうとすれば、どのような理由からですか。（回答はいくつでも可）

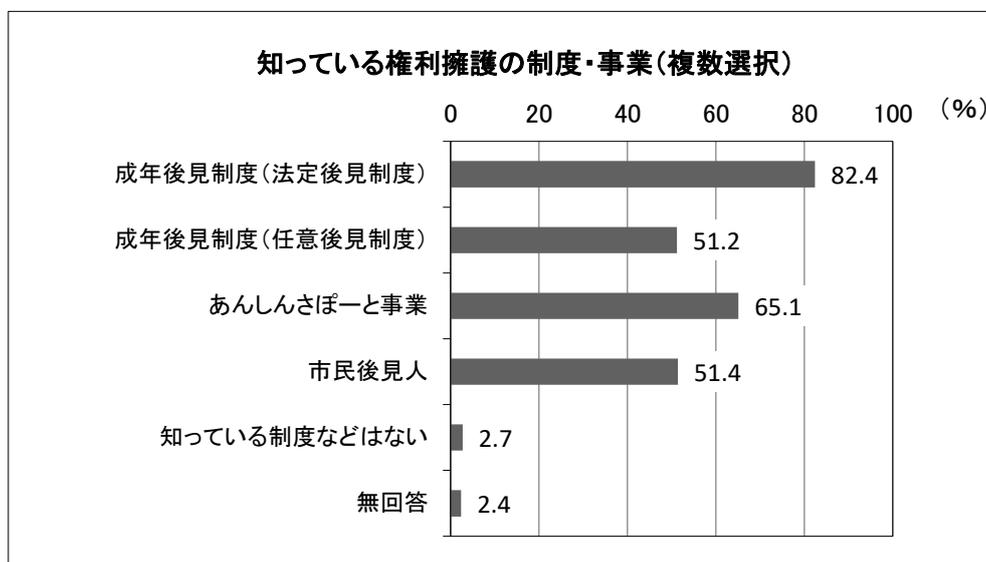


	全体	虐待ではないかもしれないから（虐待の証拠がないから）	通報（通告）したことを相手に恨まれるかもしれないから	誰が通報（通告）したか相手に知られるかもしれないから	面倒に巻き込まれたくないから	誤って通報（通告）した場合、相手がショックを受けるから	その他	理由は特にない	無回答
全体	割合(%) 100.0 回答数 490	76.3 374	11.6 57	12.4 61	4.7 23	36.5 179	4.3 21	2.9 14	8.2 40
民生委員・児童委員	割合(%) 100.0 回答数 276	75.7 209	8.7 24	9.4 26	4.0 11	34.1 94	4.7 13	3.6 10	8.0 22
地域福祉コーディネータ等	割合(%) 100.0 回答数 197	78.2 154	15.7 31	17.8 35	5.6 11	41.1 81	4.1 8	1.5 3	7.1 14
不明	割合(%) 100.0 回答数 17	64.7 11	11.8 2	- -	5.9 1	23.5 4	- -	5.9 1	23.5 4
在任期間1年未満	割合(%) 100.0 回答数 19	89.5 17	21.1 4	5.3 1	5.3 1	31.6 6	- -	- -	- -
在任期間1年～5年未満	割合(%) 100.0 回答数 67	80.6 54	14.9 10	28.4 19	7.5 5	40.3 27	4.5 3	- -	10.4 7
在任期間5年～10年未満	割合(%) 100.0 回答数 91	71.4 65	11.0 10	11.0 10	4.4 4	45.1 41	1.1 1	3.3 3	9.9 9
在任期間10年～20年未満	割合(%) 100.0 回答数 137	78.1 107	11.7 16	13.1 18	5.1 7	34.3 47	1.5 2	2.9 4	8.8 12
在任期間20年以上	割合(%) 100.0 回答数 163	75.5 123	10.4 17	8.0 13	3.1 5	34.4 56	9.2 15	3.1 5	6.1 10
不明	割合(%) 100.0 回答数 13	61.5 8	- -	- -	7.7 1	15.4 2	- -	15.4 2	15.4 2

通報（通告）をためらう理由は「虐待ではないかもしれないから（虐待の証拠がないから）」が76.3%と最も高く、次に「誤って通報（通告）した場合、相手がショックを受けるから」が36.5%となっており、疑わしい状況だけでは通報（通告）しにくいことが分かる。

成年後見制度などの利用促進に向けて

質問 29 次のうち、あなたが以前からご存知だった制度などはどれですか。（回答はいくつでも可）

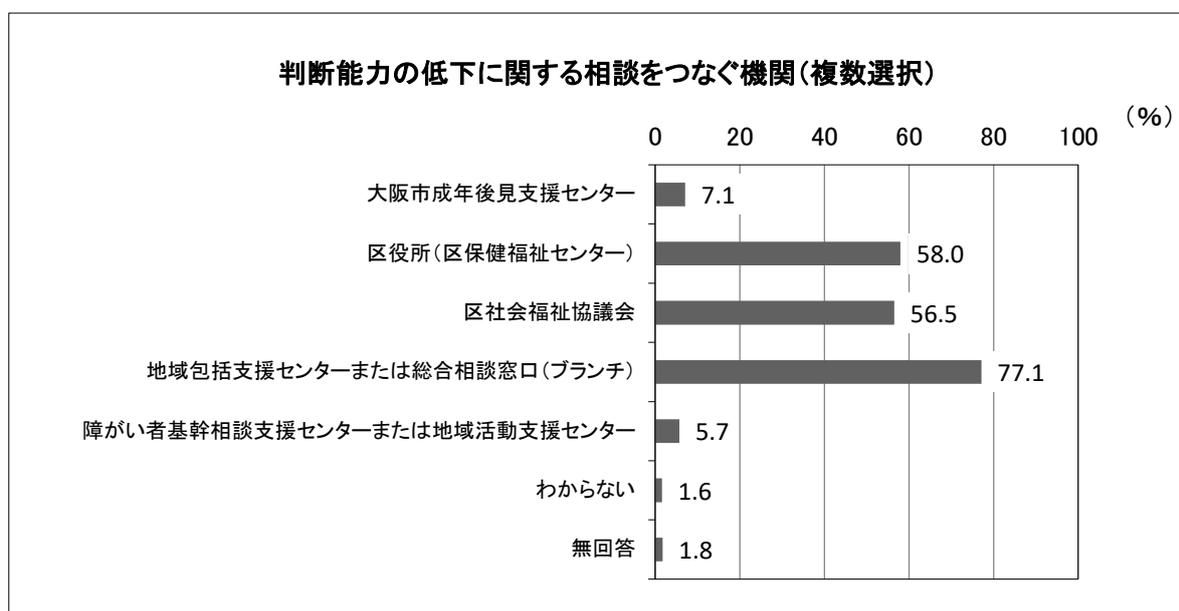


	全体	成年後見制度（法定後見制度）	成年後見制度（任意後見制度）	あんしんさぽーと事業	市民後見人	知っている制度などはない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	82.4	51.2	65.1	51.4	2.7	2.4
	回答数	490	404	251	319	252	13	12
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	80.4	46.7	60.9	55.1	2.2	3.3
	回答数	276	222	129	168	152	6	9
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	85.3	57.9	72.1	48.2	3.6	1.5
	回答数	197	168	114	142	95	7	3
不明	割合(%)	100.0	82.4	47.1	52.9	29.4	-	-
	回答数	17	14	8	9	5	-	-
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	73.7	57.9	47.4	26.3	21.1	-
	回答数	19	14	11	9	5	4	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	80.6	49.3	62.7	44.8	4.5	1.5
	回答数	67	54	33	42	30	3	1
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	91.2	56.0	68.1	50.5	1.1	1.1
	回答数	91	83	51	62	46	1	1
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	83.9	48.9	64.2	53.3	1.5	3.6
	回答数	137	115	67	88	73	2	5
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	78.5	50.9	69.3	57.1	1.8	3.1
	回答数	163	128	83	113	93	3	5
不明	割合(%)	100.0	76.9	46.2	38.5	38.5	-	-
	回答数	13	10	6	5	5	-	-

知っている権利擁護の制度・事業では、「成年後見制度（法定後見制度）」が82.4%、「あんしんさぽーと事業」が65.1%、「市民後見人」及び「成年後見制度（任意後見制度）」が約51%となっている。

## 2 調査結果

質問 30 地域の方から判断能力の低下に関する相談をされたときのつなぎ先はどこですか。(回答はいくつでも可)



	全体	大阪市成年後見支援センター	区役所(区保健福祉センター)	区社会福祉協議会	地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ブランチ)	障がい者基幹相談支援センターまたは地域活動支援センター	わからない	無回答	
全体	割合(%)	100.0	7.1	58.0	56.5	77.1	5.7	1.6	1.8
	回答数	490	35	284	277	378	28	8	9
民生委員・児童委員	割合(%)	100.0	6.5	73.6	45.7	74.3	5.1	1.4	2.2
	回答数	276	18	203	126	205	14	4	6
地域福祉コーディネータ等	割合(%)	100.0	8.1	38.1	71.1	80.7	6.1	2.0	1.0
	回答数	197	16	75	140	159	12	4	2
不明	割合(%)	100.0	5.9	35.3	64.7	82.4	11.8	-	5.9
	回答数	17	1	6	11	14	2	-	1
在任期間1年未満	割合(%)	100.0	31.6	47.4	73.7	78.9	5.3	10.5	-
	回答数	19	6	9	14	15	1	2	-
在任期間1年～5年未満	割合(%)	100.0	4.5	34.3	68.7	76.1	4.5	3.0	-
	回答数	67	3	23	46	51	3	2	-
在任期間5年～10年未満	割合(%)	100.0	6.6	45.1	58.2	81.3	2.2	1.1	2.2
	回答数	91	6	41	53	74	2	1	2
在任期間10年～20年未満	割合(%)	100.0	4.4	59.9	51.8	78.1	5.8	0.7	2.2
	回答数	137	6	82	71	107	8	1	3
在任期間20年以上	割合(%)	100.0	8.0	77.3	52.1	74.2	7.4	1.2	1.8
	回答数	163	13	126	85	121	12	2	3
不明	割合(%)	100.0	7.7	23.1	61.5	76.9	15.4	-	7.7
	回答数	13	1	3	8	10	2	-	1

判断能力の低下に関する相談をされたときのつなぎ先は、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ブランチ)」が最も高く、77.1%となっている。次いで「区役所(区保健福祉センター)」が58.0%、「区社会福祉協議会」が56.5%と続いている。